

壁掛形非常用放送設備 設定支援ソフト

WK-EK100A シリーズ用



このたびは、壁掛形非常用放送設備 WK-EK100Aシリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 設定支援ソフトをインストールする際に、ソフトウェア使用許諾契約書をよくお読みになり、同意していただける場合のみ、インストール作業を行ってください。
- 運用開始後の非常放送設定の変更は、所轄消防署の確認が必要です。

機能概要

本設定支援ソフトは、パーソナルコンピュータ（以下、PC）上で動作する、壁掛形非常用放送設備 WK-EK100Aシリーズ専用のソフトウェアです。壁掛形非常用放送設備 WK-EK100Aシリーズのシステム設定データの作成、地震放送音源データの確認、非常放送音源データの確認、業務放送音源データの編集、動作ログデータの管理を行うことができます。

設定支援ソフトで作成したシステム設定データは、SDカードを使用して壁掛形非常用放送設備の本体に書き込むことができます。また、オリジナルコールサインやオリジナルメッセージを放送したい場合には、業務放送音源データの編集機能を使用することにより対応できます。

本書について

本書は、壁掛形非常用放送設備 WK-EK100Aシリーズ専用の設定支援ソフトの取扱説明書で、PDF形式で提供されます。

本書の構成

本書は、次の内容で構成されています。各項目は、設定支援ソフト画面上のボタンに対応しています。

- 基本操作
設定支援ソフトの基本的な操作について説明します。初めてお使いになるときには、必ずご覧ください。
- システム設定データの作成
システム設定データの作成を行う機能について説明します。
- 地震放送音源の確認
地震放送音源データを確認する機能について説明します。音源データの内容を確認したい場合にお読みください。
- 非常放送音源の確認
非常放送音源の確認を行う機能について説明します。非常放送音源、増設階情報データの確認を行うときにご覧ください。
- 業務放送音源の編集
業務放送音源の編集を行う機能について説明します。オリジナルコールサインやオリジナルメッセージを作成・編集したい場合にご覧ください。
- 動作ログの確認
動作ログの確認を行う機能について説明します。壁掛形非常用放送設備からSDカード経由で取り出したログデータを確認したい場合にご覧ください。
- 画面イメージの保存
表示されている画面イメージをファイル保存する方法について説明します。
- 画面イメージの印刷
表示されている画面イメージを印刷する方法について説明します。

用語について

本書で使用する用語について説明します。

- 本体

壁掛形非常用放送設備（WK-EK110A/WK-EK115A/WK-EK120A）のことです。特に壁掛形非常リモコン（WR-EC110A/WR-EC115A/WR-EC120A）やマルチリモコンマイク（WR-MC100A）などと区別して説明する必要がある場合に使用します。

- PC

パーソナルコンピューターのことです。ここでは、Microsoft® Windowsが動作するPC/AT 互換機のことを示しています。

- SD カード

SD規格に準拠したSDメモリーカードです。

登録商標・商標について

- Microsoft®, Windows® および Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- SD、SDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- Adobe® および Acrobat Reader® は、Adobe Systems Incorporated の商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

略称について

このドキュメントでは、以下の略称を使用しています。

- Windows 7 日本語版、Windows 8 日本語版、Windows 8.1 日本語版のすべてに関する説明を記載している箇所ではこれらをまとめて Windows と表記しています。また、Windows には最新の Service Pack をあてているものとします。
- SDHC メモリーカード、SD メモリーカードを SD カードと表記しています。

記号について

本書では、以下の記号を用いて説明しています。



重要 : 該当する機能を使用するにあたり、制限事項や注意事項が書かれています。



: 使用上のヒントが書かれています。

もくじ

はじめに

機能概要	2
本書について	2
本書の構成	2
用語について	3
登録商標・商標について	3
略称について	3
記号について	3

操作

基本操作	6
設定支援ソフトでできること	6
対応機種	6
動作環境	7
SD カードについて	7
インストール	9
アンインストール	10
アプリケーションを起動する	11
アプリケーションを終了する	12
機能選択のしかた	13
ファイルの種類	14
フォルダの構成	15
データ管理概念図	16
システム設定データの作成	17
システム設定の流れ	17
システム設定画面の概要	18
設定データの読み込み	21
設定データの保存	22
設定データの初期化	23
設定データの CSV 保存	24
ユーザー情報の設定	25
各部名称の設定	27
機器構成の設定	29
地震放送の設定	32
出火階・連動階の設定	33
スピーカー回線の設定	35
音声警報の設定	37
優先順位の設定	41
音声入力の設定	43
外部制御出力の設定	45
その他機能の設定	47
非常放送動作フローの表示	49
非常放送システムの表示	50

地震放送音源の確認	51
地震放送音源確認画面の概要	51
音声テスト	52
非常放送音源の確認	53
非常放送音源の確認の流れ	53
非常放送音源の概要	54
非常放送音源の試聴	55
増設非常放送音源データファイルの読み込み	57
増設階情報管理データファイルの読み込み	57
業務放送音源の編集	58
業務放送音源の編集の流れ	58
業務放送音源の編集の概要	59
業務放送音源データファイルの読み込み	61
業務放送音源データの作成・編集	63
業務放送音源データファイルの生成	70
業務放送音源データファイルの CSV 保存	72
動作ログの確認	73
動作ログの概要	73
動作ログデータファイルの読み込み	74
動作ログの表示	75
動作ログデータファイルのテキスト保存	76
画面イメージの保存	77
画面イメージ保存の概要	77
画面イメージ保存の方法	77
画面イメージの印刷	78
画面イメージ印刷の概要	78
画面イメージ印刷の方法	78

故障かな!?	79
付録	80
ファイル読み込み／保存の手順	80



基本操作

設定支援ソフトでできること

設定支援ソフトには、壁掛形非常用放送設備 WK-EK100Aシリーズのシステム設定データの作成をはじめ、運用やメンテナンスを便利にする以下の機能があります。

機能	概要	参照ページ
システム設定データの作成	壁掛形非常用放送設備の動作に関するシステム設定データの作成、編集および管理を行う機能です。地震放送関連と非常放送関連と業務放送関連の設定を簡単に行うことができます。	17
地震放送音源の確認	地震放送音源データを確認する機能です。地震放送音源データの内容を試聴、確認できます。	51
非常放送音源の確認	非常放送音源の試聴、階情報データの確認を行う機能です。特に増設階情報データを取り扱う際に便利です。	53
業務放送音源の編集	オリジナルコールサインやオリジナルメッセージの業務放送音源データの編集・試聴を行う機能です。これら業務放送音源データを本体に書き込む場合は、必ず本機能を使用して業務放送音源データを生成する必要があります。	58
動作ログの確認	本体で記録している動作ログの確認を行う機能です。障害発生時の解析に使用します。	73
画面イメージの保存	設定支援ソフトの表示画面を画像ファイルとして保存する機能です。	77
画面イメージの印刷	設定支援ソフトの表示画面をプリンタから印刷する機能です。	78

対応機種

設定支援ソフトの対応機種は、壁掛形非常用放送設備 WK-EK100Aシリーズの3種類です。

品番	名称
WK-EK110A	壁掛形非常用放送設備 10局
WK-EK115A	壁掛形非常用放送設備 15局
WK-EK120A	壁掛形非常用放送設備 20局

動作環境

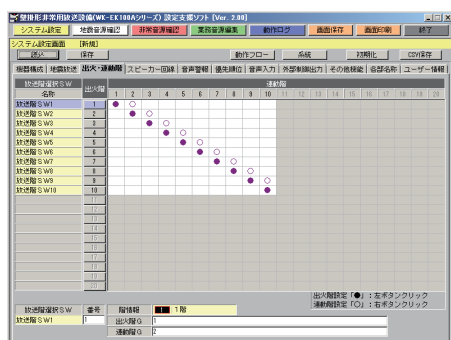
設定支援ソフトの動作環境を、以下の表に示します。

項目	PCスペック
CPU	OSの要求する条件に依存します。
メモリ	OSの要求する条件に依存します。(128 MB以上推奨)
ハードディスク	設定支援ソフト用に100 MB以上の空き領域
モニタ解像度	1024×768ピクセル以上
モニタ表示色	16 bit High Color (65 536色) 以上
OS	Microsoft Windows 7 Professional SP1日本語版 Microsoft Windows 8 Pro日本語版 Microsoft Windows 8.1 Pro日本語版 ※日本語版のみサポートします。 ※最新のService Packをあててください。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 本体とデータをやりとりするためには、SDカードへのファイルの書き込み、読み出しができるインターフェースが必要です。 地震放送音源、非常放送音源、業務放送音源の試聴を行う場合は、WAV ファイルが再生できる音源再生ソフト (Windows Media® Player 12) がインストールされている必要があります。 印刷機能を使用する場合は、プリンタの接続が必要です。

SD カードについて

※設定支援ソフトと本体の間で各種データをやりとりするために、SDカードを使用します。

設定支援ソフト

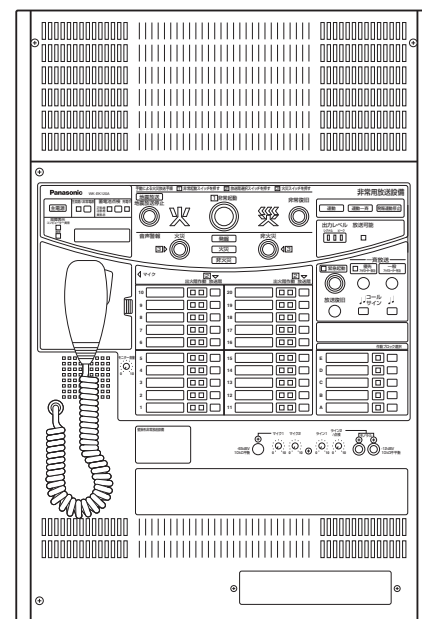


システム設定データ
業務放送音源データ



システム設定データ
動作ログデータ
業務放送音源データ

本体



基本操作



- 本体のSDカード装着は、セット内部にあります。各種データの読み込み、書き込みについては、工事説明書をお読みください。
 - 未フォーマットのSDカードを使用する場合は、SDフォーマッター^{*}をご使用ください。フォーマットすると、記録されていた内容は消去されます。未フォーマットのSDカードや指定方法以外でフォーマットしたSDカードを使用すると、正常に動作しないことや、性能低下することがあります。
※SDフォーマッターとは、SD/SDHC/SDXC規格を使用したメモリーカードの性能が最適になるようにフォーマットするソフトウェアです。フォーマッターの入手は、SDアソシエーションのホームページまたは、販売店にお問い合わせください。
 - 一部のSDカードは本機で使用すると、正常に動作しないことや、性能が低下することがあります。推奨SDカードの使用をお勧めします。
推奨SDカード
パナソニック株式会社製（別売り）
SDHCカード：4 GB、8 GB、16 GB、32 GB
SDカード：2 GB
(miniSDカード、microSDカードは除く)
 - パソコンの機能による「フォーマット」や「消去・削除」では、多くの場合、SDカード内のデータは完全には消去されません。譲渡の際は、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってSDカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
 - 廃棄の際は、SDカードを物理的に分解するか、SDカード内のデータを完全に消去して、それぞれの地域ルールにしたがって、分別廃棄をお願いします。
 - SDカード内のフォルダー構成には制限があります。
SDカードのドライブ直下に置くファイル数（フォルダー数含む）は、35以下にしてください。
36以上の場合、ファイルを認識できないことがあります。その場合、使用しないファイルを新規作成したフォルダーに移動し、ファイル数（フォルダー数）を35以下にしてください。
-

インストール

設定支援ソフトのインストール手順を以下に示します。

設定支援ソフトをインストールする際には、ソフトウェア使用許諾契約書をよくお読みになり、同意していただける場合のみ、インストールを行えます。

操作手順

- 1 インストール用ファイルの準備をします**
デスクトップ上に任意のフォルダーを作成し、インストール用ファイルをフォルダーの中へ移動します。
- 2 インストール用ファイルをダブルクリックします**
セットアッププログラムが起動し、セットアップウィザード画面が表示されます。
- 3 [次へ] ボタンをクリックします**
使用許諾契約画面が表示されます。
セットアッププログラムを中断する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。
- 4 使用許諾契約内容をよくお読みになった上で、同意する場合は [はい] ボタンをクリックします**
インストール先のフォルダ画面が表示されます。
インストール先のフォルダを変更する場合は、[参照] ボタンをクリックし、任意のフォルダーを選択または新規作成してください。
- 5 [次へ] ボタンをクリックします**
インストールが開始され、終了すると完了画面が表示されます。
- 6 [完了] ボタンをクリックします**
インストールが完了し、画面が閉じます。



• 手順 1 で作成したデスクトップ上のフォルダーは削除しても問題ありません。

アンインストール

設定支援ソフトのアンインストール手順を以下に示します。

操作手順

1 Windows のコントロールパネルの [プログラム]、[プログラムと機能] の順にクリックします



• Windows 8、Windows 8.1 の場合は、コントロールパネルの [プログラムと機能] をクリックします。

2 「壁掛形非常用放送設備（WK-EK100A シリーズ）設定支援ソフト」を選択し、「アンインストール」ボタンをクリックします

「アンインストールの確認」画面が表示されます。

3 表示される画面の指示にしたがってアンインストールします
設定支援ソフトが削除されます。



• アンインストールは必ず本設定支援ソフトを終了させた状態で行ってください。

アプリケーションを起動する

本アプリケーションの起動方法を以下に示します。

操作手順

- 1 スタートメニューの [すべてのプログラム] から、「壁掛形非常用放送設備 (WK-EK100A シリーズ) 設定支援ソフト」をクリックします

デスクトップ上の [壁掛形非常用放送設備 (WK-EK100Aシリーズ) 設定支援ソフト] のアイコンをダブルクリックしても、本アプリケーションを起動することができます。



- Windows 8、Windows 8.1 の場合はデスクトップの [壁掛形非常用放送設備 (WK-EK100Aシリーズ) 設定支援ソフト] のアイコンをダブルクリックして、設定支援ソフトを起動してください。

オープニング画面が表示されたあとに、メニュー画面が表示されます。



アプリケーションを終了する

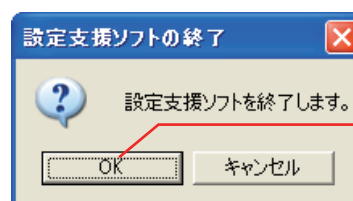
本アプリケーションの終了方法を以下に示します。

操作手順

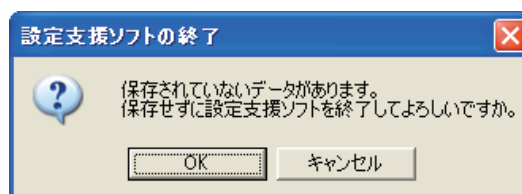
- 1 画面右上の【終了】ボタンをクリックします
終了確認画面が表示されます。



- 2 【OK】ボタンをクリックします
本アプリケーションが終了します。
【キャンセル】ボタンをクリックすると、元の画面に戻ります。

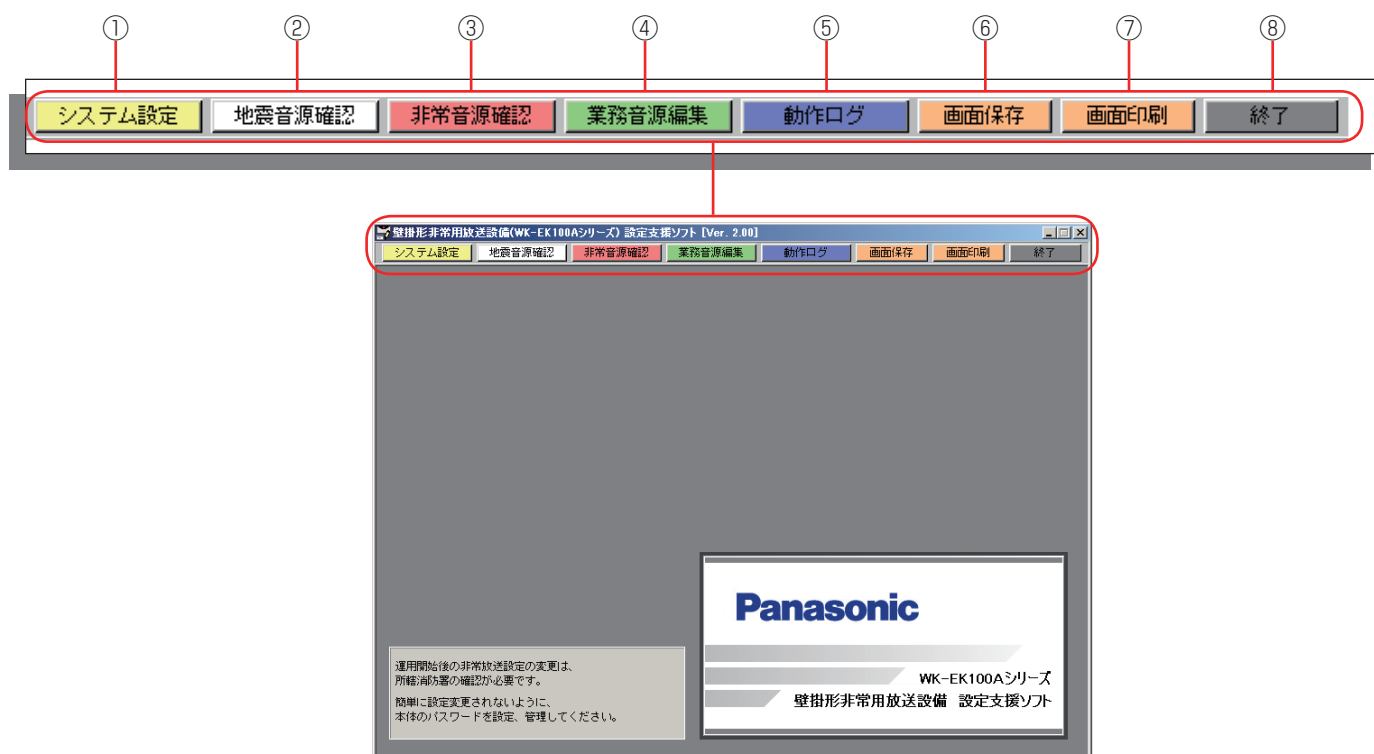


- データを保存しないで終了した場合は、右の画面が表示されます。
- 【OK】ボタンをクリックすると、データを破棄して終了します。【キャンセル】ボタンをクリックすると、元の画面に戻ります。



機能選択のしかた

設定支援ソフトが起動したらメニューバーで機能の選択を行います。



番号	ボタン名称	説明	参照ページ
①	システム設定	システム設定画面が開きます。 システム設定データの作成、編集および管理ができます。	17
②	地震音源確認	地震音源確認画面が開きます。 地震放送音源の確認や試聴ができます。	51
③	非常音源確認	非常音源確認画面が開きます。 非常放送音源の試聴、階情報データの確認を行うことができます。	53
④	業務音源編集	業務音源編集画面が開きます。 オリジナルコールサインやオリジナルメッセージの業務放送音源データの編集・試聴ができます。	58
⑤	動作ログ	動作ログ画面が開きます。 本体で記録している動作ログの確認ができます。	73
⑥	画面保存	画面イメージの保存画面が開きます。 設定支援ソフトの表示画面を画像ファイルとして保存できます。	77
⑦	画面印刷	画面イメージの印刷画面が開きます。 設定支援ソフトの表示画面をプリンタから印刷できます。	78
⑧	終了	終了確認メッセージが開きます。 設定支援ソフトを終了できます。	12

基本操作

ファイルの種類

本アプリケーションで使用するファイルの種類は下表のとおりです。

番号	ファイル	拡張子	備考
①	システム設定データ	.ea1 .ea2 .ea3	システム設定データファイルです。設定支援ソフトおよび本体で作成、読み込みができます。 局数によって拡張子が異なります。 .ea1：WK-EK110A用 .ea2：WK-EK115A用 .ea3：WK-EK120A用
②	増設非常放送音源データ	.emb	増設階用の非常放送音源データファイルです。設定支援ソフトでは読み込みのみが可能です。 ※特注対応
③	増設階情報管理データ	.efb	増設の階情報名称を記述したファイルです。設定支援ソフトでは読み込みのみが可能です。 ※特注対応
④	業務放送音源データ	.eka	業務放送音源の書き換え用ファイルです。設定支援ソフトで作成でき、本体では読み込みのみが可能です。
⑤	動作ログデータ	.ela	動作ログデータファイルです。本体でのみ作成でき、設定支援ソフトでは読み込みのみが可能です。
⑥	システム設定CSV データ	.csv	システム設定データの内容をCSV形式で出力したファイルです。
⑦	業務放送音源CSV データ	.csv	業務放送音源データの内容をCSV形式で出力したファイルです。
⑧	動作ログテキストデータ	.txt	動作ログの内容をTXT形式で出力したファイルです。
⑨	画面イメージデータ	.bmp .jpg .jpeg	設定支援ソフトの画面イメージを取り込んだ画像ファイルです。
⑩	音源WAVデータ	.wav	業務放送音源データを作成するときに使用する音源データです。

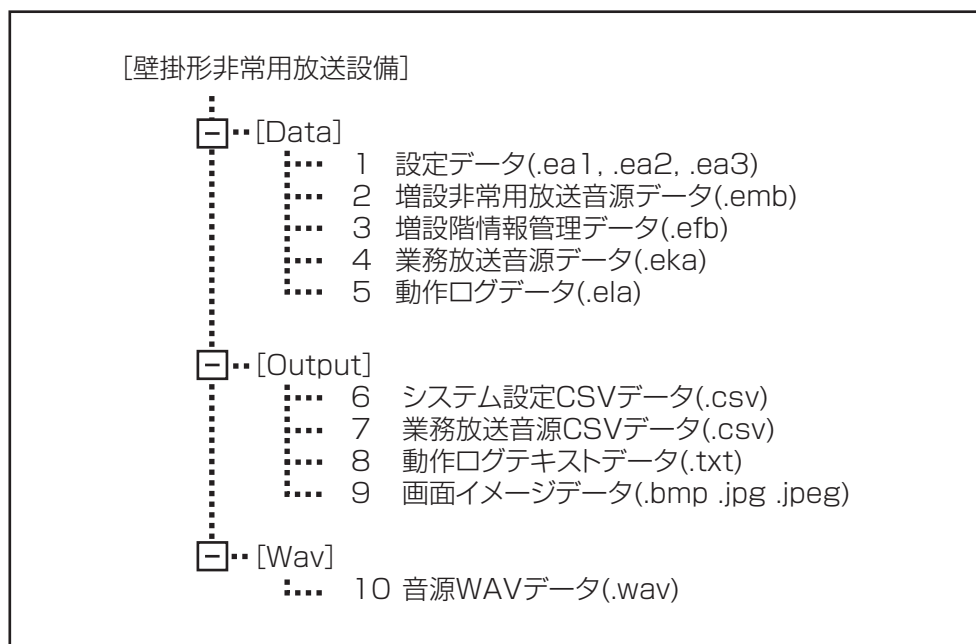
※設定支援ソフトで使用するファイルの中で、メーカーがお客様からのご注文に応じて作成し、提供させていただくものです。

②増設非常放送音源データ：お客様からのご注文に応じた増設階の音源データが含まれているファイルです。

③増設階情報管理データ：増設非常放送音源データの中身を示す情報が記載されたファイルです。

フォルダの構成

- 設定支援ソフトのインストール時に、インストールしたドライブの直下に、作業フォルダである「壁掛形非常用放送設備」フォルダが作成されます。
標準作業フォルダは、設定支援ソフトで各データファイルを作成したときに、標準の読み込み／保存先フォルダとして指定されます。
- 作業フォルダでは、以下の図に示すとおり各データファイルを格納します。

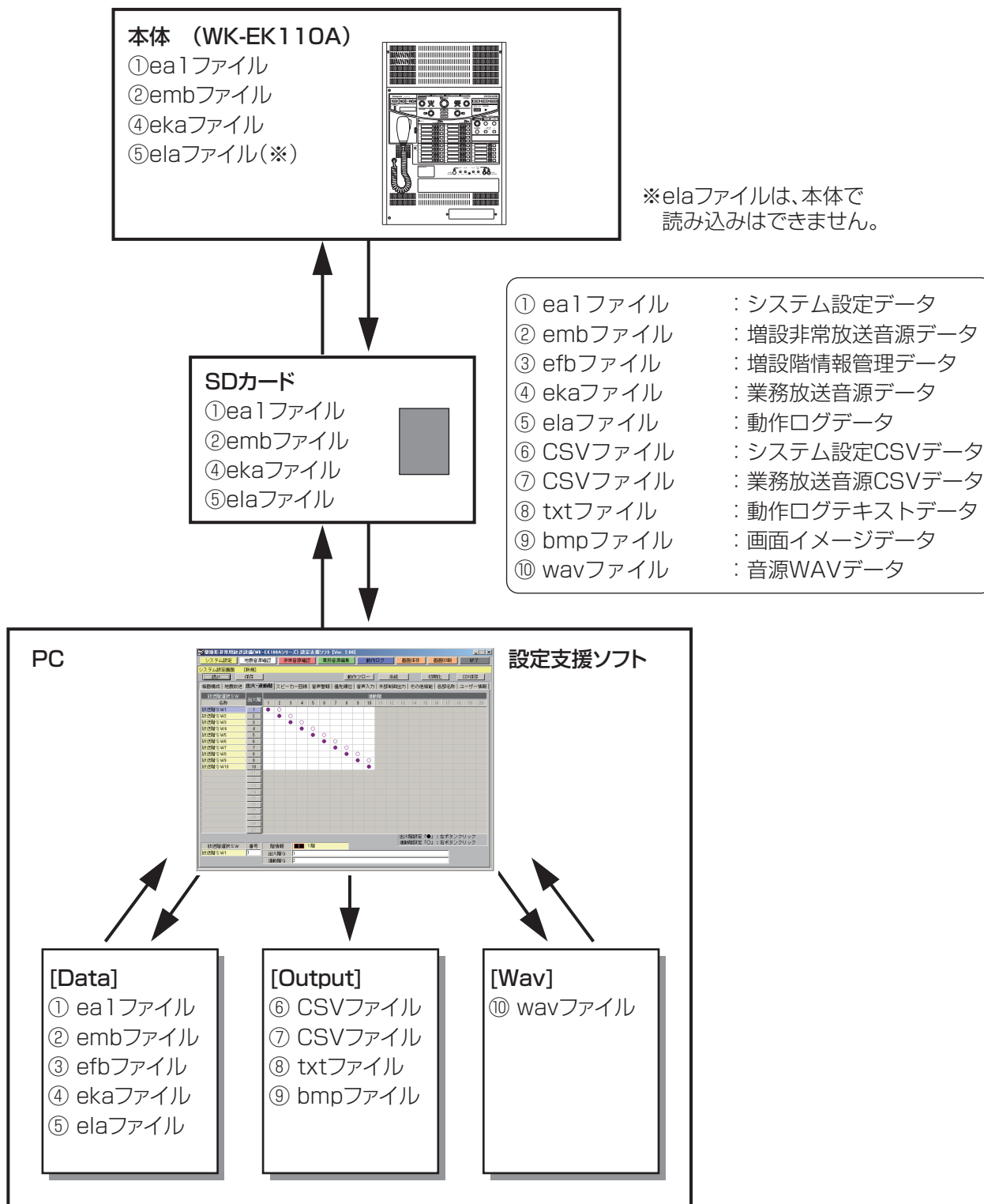


データ管理概念図

各ファイルの格納場所、およびデータのやり取りについて下図に示します。

ここでは、WK-EK110Aを代表例として説明します。

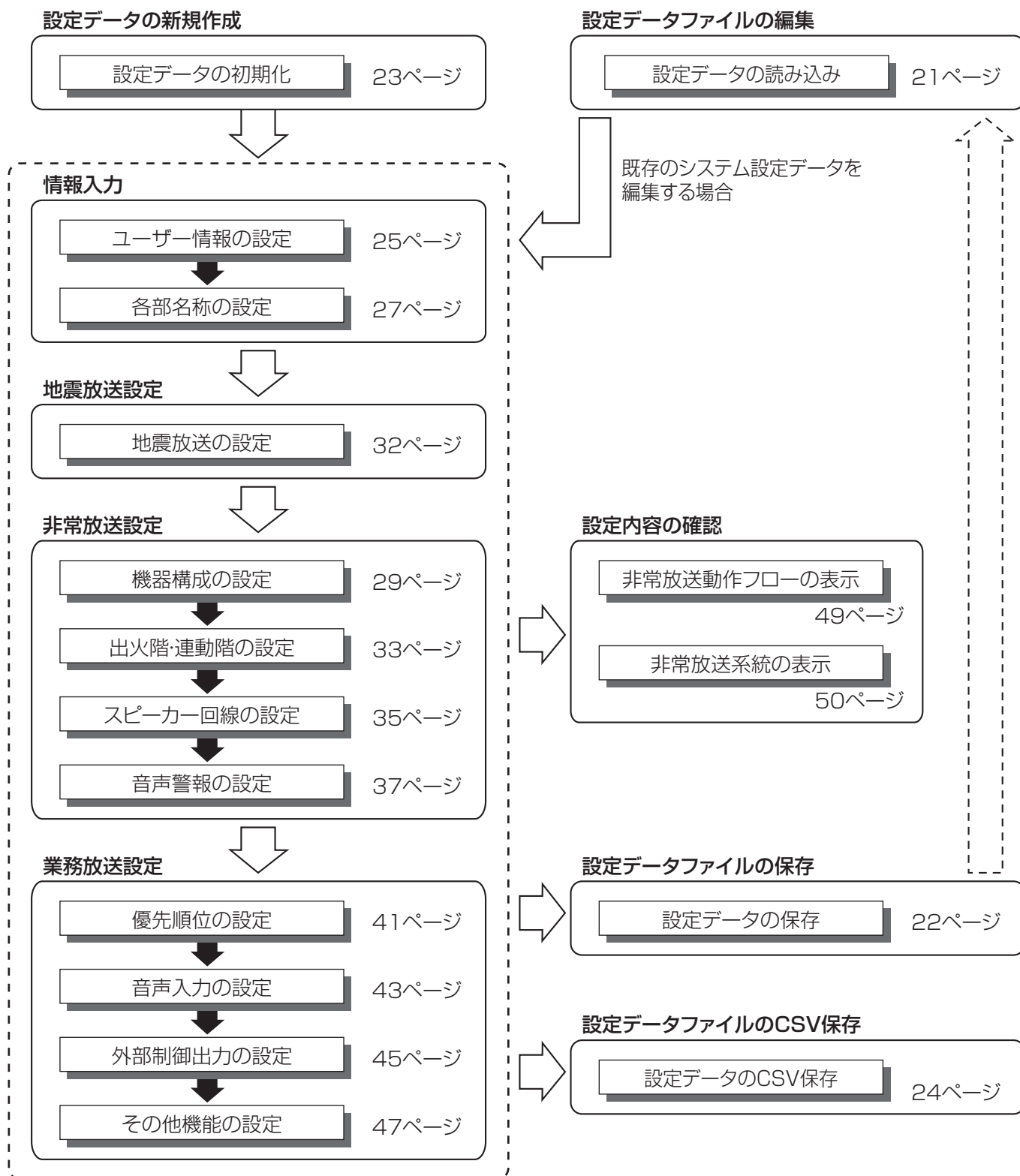
WK-EK115AおよびWK-EK120Aでは、システム設定データの拡張子が異なります。



システム設定データの作成

システム設定の流れ

システム設定データの作成機能では、本体の動作に関する設定データの編集・管理を行います。
ここでは、基本的な設定の流れについて示します。



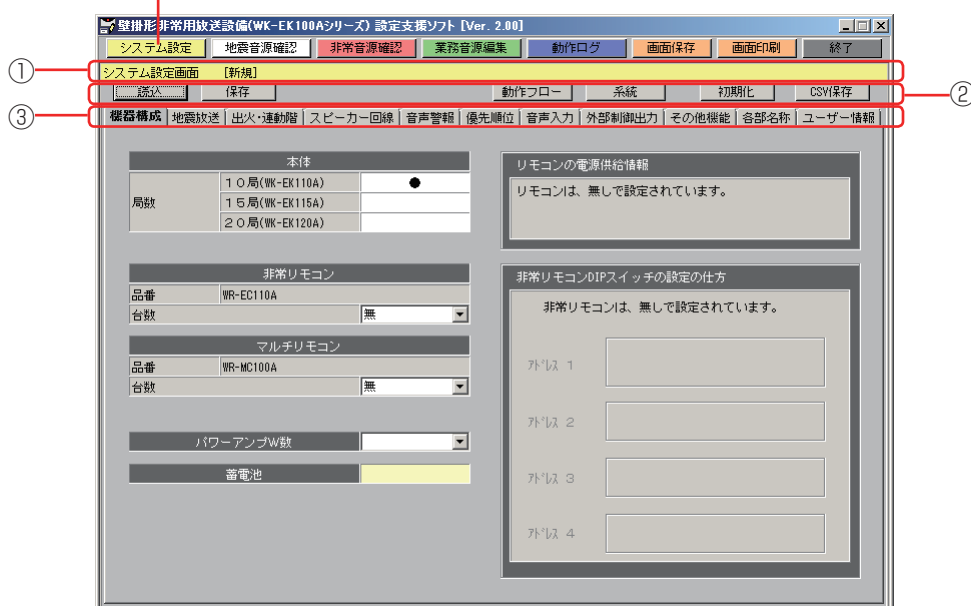
システム設定データの作成

システム設定画面の概要

本体の動作に関する設定データの編集・管理を行います。メニューバーの「システム設定」ボタンをクリックすると表示されます。

●共通部

「システム設定」ボタン



① タイトルバー

システム設定画面が表示されていることを表します。

設定データファイルの読み込み時、保存時に指定した設定データファイルの名称を表示します。

システム設定画面 [C:\壁掛形非常用放送設備\Data\SystemData.ea1]

設定データファイルの読み込み、保存を行ったあとに、システム設定画面で設定を変更・削除した場合、システム設定画面のデータとファイルのデータが異なるため、ファイル名の後ろに「更新」が表示されます。

システム設定画面 [C:\壁掛形非常用放送設備\Data\SystemData.ea1][更新]

本アプリケーション起動直後または初期化直後など、設定データファイルが指定されていない場合は、ファイル名かわりに「新規」が表示されます。

システム設定画面 [新規]

② メニューバー

メニューバー上の各ボタンをクリックすることにより、各機能を実行できます。

③ ページ選択タブ

各タブをクリックすることにより、各設定画面のページを表示することができます。

(1) メニューバー



番号	ボタン名称	説明	参照ページ
①	読込	設定データを読み込みます。クリックすると、設定データ読み込み画面が表示されます。(「設定データの読み込み」)	21
②	保存	設定データを保存します。クリックすると、設定データ保存画面が表示されます。(「設定データの保存」)	22
③	動作フロー	非常放送の動作フローを表示します。クリックすると、非常放送動作フロー表示画面が表示されます。(「非常放送動作フローの表示」)	49
④	系統	非常放送の系統図を表示します。クリックすると、非常放送系統表示画面が表示されます。(「非常放送系統の表示」)	50
⑤	初期化	現在設定されている設定データを初期化(工場出荷時の状態)します。クリックすると、初期化確認画面が表示されます。(「設定データの初期化」)	23
⑥	CSV保存	設定データの内容をCSV ファイルに保存します。クリックすると、設定データCSV 保存画面が表示されます。(「設定データのCSV保存」)	24

システム設定データの作成

(2) ページ選択タブ



番号	ボタン名称	説明	参照ページ
①	機器構成	クリックすると、機器構成設定画面が表示されます。(「機器構成の設定」)	29
②	地震放送	クリックすると、地震放送設定画面が表示されます。(「地震放送の設定」)	32
③	出火・連動階	クリックすると、出火・連動階設定画面が表示されます。(「出火階・連動階の設定」)	33
④	スピーカー回線	クリックすると、スピーカー回線設定画面が表示されます。(「スピーカー回線の設定」)	35
⑤	音声警報	クリックすると、音声警報設定画面が表示されます。(「音声警報の設定」)	37
⑥	優先順位	クリックすると、優先順位設定画面が表示されます。(「優先順位の設定」)	41
⑦	音声入力	クリックすると、音声入力設定画面が表示されます。(「音声入力の設定」)	43
⑧	外部制御出力	クリックすると、外部制御出力設定画面が表示されます。(「外部制御出力の設定」)	45
⑨	その他機能	クリックすると、その他機能設定画面が表示されます。(「その他機能の設定」)	47
⑩	各部名称	クリックすると、各部名称設定画面が表示されます。(「各部名称の設定」)	27
⑪	ユーザー情報	クリックすると、ユーザー情報設定画面が表示されます。(「ユーザー情報の設定」)	25

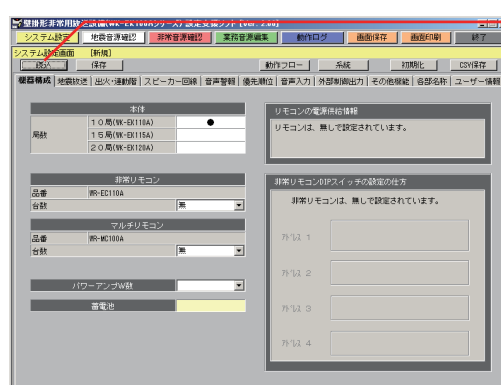
設定データの読み込み

設定データファイルから設定データを読み込む方法を以下に示します。
ea1/ea2/ea3ファイルを読み込み可能です。CSVファイルを読み込むことはできません。

操作手順

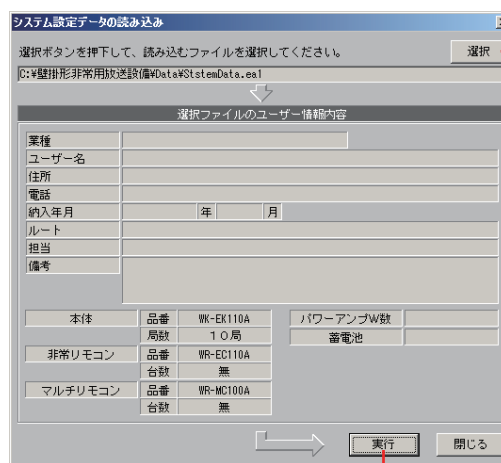
1 システム設定画面で、メニューバーの【読み込】ボタンをクリックします

設定データ読み込み画面が表示されます。



2 【選択】ボタンをクリックし、読み込む設定データファイルを選択します

設定データファイルのファイル名とユーザー情報が表示されます。



- 選択したファイル内にユーザー情報が書き込まれていない場合、ユーザー情報は表示されません。

3 【実行】ボタンをクリックします

読み込みが開始します。
読み込みが完了すると、機器構成設定画面（29ページ）が表示されます。



- ファイルの読み込みについての詳細は、ファイル読み込み／保存の手順（80ページ）を参照してください。

●旧機種（WK-EK110シリーズ）のデータ読み込みについて

「ファイルの種類」を“システム設定データ（*.es1/*.*es2/*.*es3）”にすることでWK-EK100シリーズのシステム設定データ（.es1/.es2/.es3）を読み込むことができます。

読み込んだシステム設定データをWK-EK100Aシリーズのシステム設定データ（.ea1/.ea2/.ea3）に変換して保存したり、本体に書き込むことができます。

システム設定データの作成

設定データの保存

設定データを設定データファイルに保存する方法を以下に示します。

操作手順

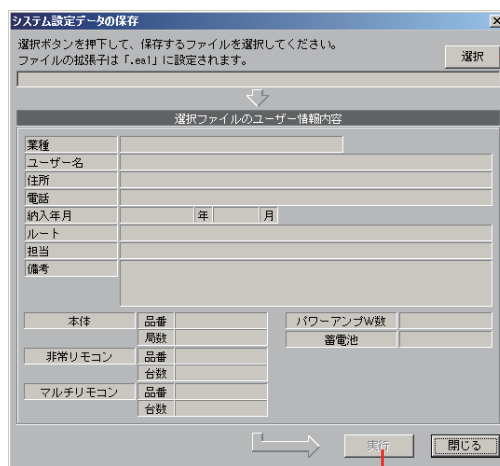
1 システム設定画面で、メニューバーの【保存】ボタンをクリックします

設定データ保存画面が表示されます。



2 【選択】ボタンをクリックし、保存する設定データファイルを選択します

設定データファイルのファイル名とユーザー情報が表示されます。



- 選択したファイル内にユーザー情報が書き込まれていない場合、ユーザー情報は表示されません。



- 保存する設定データファイルの種類は、保存する設定データの局数により下表のとおり自動的に決定されます。設定データ保存後、ファイルの拡張子を変更しないでください。

局数	拡張子	説明
10局	.ea1	WK-EK110A用設定データファイル
15局	.ea2	WK-EK115A用設定データファイル
20局	.ea3	WK-EK120A用設定データファイル

3 【実行】ボタンをクリックします

ファイルの保存が開始されます。



- 設定データファイルのファイル名に使用できる文字は、半角英数字および - ! # \$ % & @ です。
- 設定データファイルのファイル名に使用できる文字数は、半角 15 文字までです。全角文字は使用できません。
- 作成した設定データファイルを本体に書き込むときは、設定データファイルを SD カードに保存してください。
- ファイルの保存についての詳細は、ファイルの読み込み／保存の手順（80 ページ）を参照してください。

設定データの初期化

現在設定されている設定データを初期化（工場出荷時の状態）する方法を以下に示します。

操作手順

1 システム設定画面で、メニューバーの【初期化】ボタンをクリックします

初期化確認画面が表示されます。

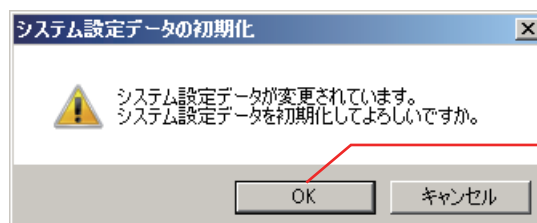


- 本アプリケーション起動時およびすでに初期化されている状態では、初期化確認画面は表示されません。



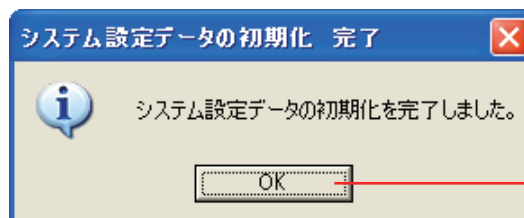
2 [OK] ボタンをクリックします

初期化が開始され、終了すると初期化完了画面が表示されます。



3 [OK] ボタンをクリックします

初期化が完了し、画面が閉じます。



システム設定データの作成

設定データの CSV 保存

設定データを CSV ファイルに保存する方法を以下に示します。

CSV ファイルは、カンマで区切られた定型のテキスト形式ファイルです。CSV ファイルは、表計算ソフト (Microsoft Excel 等) でファイルを読み込むことができますので、表計算ソフト上からドキュメントを加工し、システム設定表などの一部にすることが可能です。



- 設定データ CSV ファイルは、表計算ソフトで、閲覧・加工することをお勧めします。このファイルは、表計算ソフトで使用したときに閲覧・加工しやすいようなファイルフォーマットになっています。

操作手順

1 システム設定画面で、メニューバーの [CSV 保存] ボタンをクリックします

設定データ CSV 保存画面が表示されます。

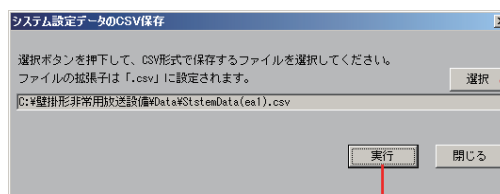


- 設定データの CSV 保存を行うときは、データを保存してから [CSV 保存] ボタンをクリックしてください。



2 [選択] ボタンをクリックし、保存する CSV ファイルを選択します

設定データ CSV 保存画面に選択したファイル名が表示されます。



3 [実行] ボタンをクリックします

CSV 保存が開始されます。



- ファイルの保存についての詳細は、ファイルの読み込み／保存の手順 (80 ページ) を参照してください。

ユーザー情報の設定

ユーザー情報を設定します。

ユーザー情報の設定は、ユーザー情報設定画面で行います。

設定	説明
業種	無／ホテル／デパート・ショッピングセンター／オフィスビル／庁舎・役所／学校／集合住宅／病院／工場／大規模複合ビル／その他
ユーザー名	半角40文字（全角20文字）
住所	半角80文字（全角40文字）
電話	半角40文字（全角20文字）
納入年月	年：無／2004～2034 月：無／1～12
ルート	半角40文字（全角20文字）
担当	半角40文字（全角20文字）
備考	半角200文字（全角100文字）

① ユーザー情報設定

ユーザーの名称、住所、電話番号などのユーザー情報を設定します。初期化時（工場出荷時）は何も設定されていません。



- ユーザー情報は必ず設定してください。ユーザー情報は設定データファイルに保存されますので、設定データファイルを読み込むとユーザー情報が表示されます。ユーザー情報が設定されていると、どのユーザーの設定データファイルなのか分かりやすくなります。

設定できる情報は下表のとおりです。

設定	説明
業種	無／ホテル／デパート・ショッピングセンター／オフィスビル／庁舎・役所／学校／集合住宅／病院／工場／大規模複合ビル／その他
ユーザー名	半角40文字（全角20文字）
住所	半角80文字（全角40文字）
電話	半角40文字（全角20文字）
納入年月	年：無／2004～2034 月：無／1～12
ルート	半角40文字（全角20文字）
担当	半角40文字（全角20文字）
備考	半角200文字（全角100文字）

システム設定データの作成

② 機器構成表示

機器構成設定画面で設定した内容を表示します。

表示される情報は以下のとおりです。

本体 : 品番、局数

非常リモコン : 品番、台数

マルチリモコン : 品番、台数

パワーアンプW数

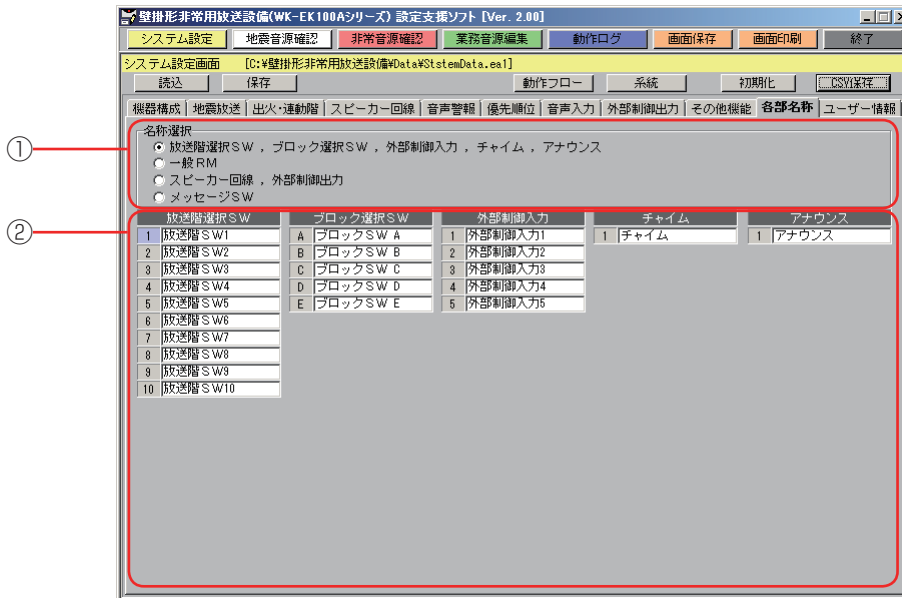
蓄電池



- ユーザー情報設定画面では、機器構成は設定できません。機器構成の設定は、機器構成設定画面で行ってください。
-

各部名称の設定

各起動入力（スイッチ、制御入力など）およびスピーカー回線、外部制御出力、メッセージスイッチの名称を設定します。名称を設定すると、設定した名称が、出火・連動階設定画面、スピーカー回線設定画面などに表示されます。各部名称の設定は、各部名称設定画面で行います。



① 名称グループ選択ボタン

設定したい名称のグループを選択します。選択した名称グループの各名称が名称設定部に表示されます。設定したい名称グループの上でマウスの左ボタンをクリックして、種別を選択します。



- マルチリモコンの名称を設定する場合は、機器構成設定画面でマルチリモコンの台数を設定してください。設定したマルチリモコンの台数分だけ、名称の変更を行うことができます。

② 各部名称設定

各部の名称を設定します。キーボードから設定したい名称を入力します。名称は、半角16文字（全角8文字）以内で設定できます。



- 名称を空欄にすると、出火・連動階設定画面やスピーカー回線設定画面に名称が表示されません。名称が表示されないと、何を設定しているか判断しづらくなりますので、名称を設定することをお勧めします。

システム設定データの作成

工場出荷時は、下表の名称が設定されています。

項目	名称
放送階選択スイッチ	放送階SW ** (** : 番号) (例) 放送階SW1、放送階SW10
ブロック選択スイッチ	ブロックSW * (* : 番号) (例) ブロックSW A、ブロックSW B
外部制御入力	外部制御入力* (* : 番号) (例) 外部制御入力1、外部制御入力5
チャイム	チャイム
アナウンス	アナウンス
マルチリモコン	SW ** (** : 番号) (例) SW1、SW20
リモコンマイク (一般リモコン)	SW ** (** : 番号) (例) SW1、SW10
スピーカー回線	スピーカー** (** : 番号) (例) スピーカー1、スピーカー5
外部制御出力	外部制御出力* (* : 番号) (例) 外部制御出力1、外部制御出力5
メッセージスイッチ	サイレン、メッセージSW2

機器構成の設定

システムの構成状態に合わせてシステムの機器構成を設定します。

機器構成の設定は、機器構成設定画面で行います。



① 本体局数設定

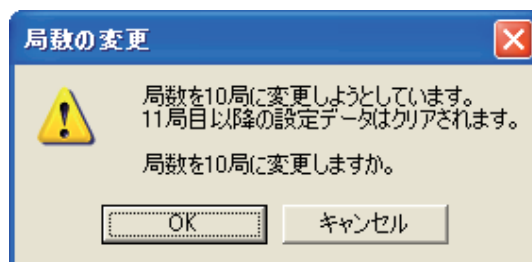
システム構成状態に合わせて本体の局数を設定します。

本体の局数は下表の中から1つを設定できます。初期化時（工場出荷時）は、10局が設定されています。

局数	型式
10局	WK-EK110A
15局	WK-EK115A
20局	WK-EK120A



- 一度設定した局数より小さい局数に設定すると、局数変更確認画面が表示されます。
- 「OK」ボタンをクリックすると、局数が変更され、必要なくなった局数の設定データは自動的に初期化されます。
- 「キャンセル」ボタンをクリックすると、局数は変更されません。また、設定データは自動的に初期化されません。



システム設定データの作成

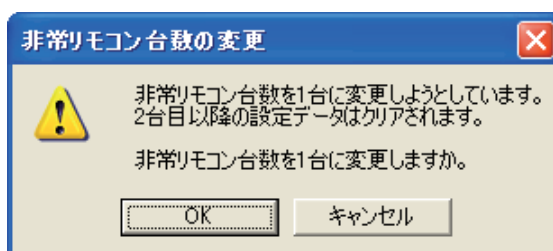
② リモコン台数設定

システム構成状態に合わせて非常リモコン、マルチリモコンの台数を設定します。

各リモコンの台数は「無」、「1台」～「4台」から設定できます。初期化時（工場出荷時）は「無」が設定されています。



- 一度設定したリモコンの台数より小さい台数に設定すると、台数変更確認画面が表示されます。
- 「OK」ボタンをクリックすると、台数が変更され、必要なくなった台数の設定データは自動的に初期化されます。
- 「キャンセル」ボタンをクリックすると、台数は変更されません。また、設定データは自動的に初期化されません。



③ パワーアンプW数設定、蓄電池設定

システム構成状態に合わせてパワーアンプW数と蓄電池を設定します。パワーアンプW数を設定すると、パワーアンプW数に応じて蓄電池が自動的に設定され、表示部に表示されます。

パワーアンプW数と蓄電池は下表の中から1つを設定できます。パワーアンプW数が不明な場合は、空欄にしてください。

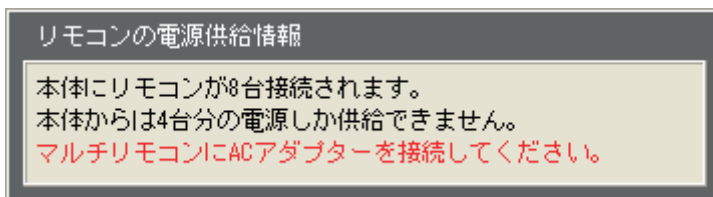
パワーアンプW数	蓄電池
60 W	NCB-165A × 1
120 W	NCB-350 × 1
240 W	NCB-600 × 1
360 W	NCB-600 × 1

④ リモコン電源供給情報表示

本体に接続されるリモコン台数に合わせて、リモコンの電源供給情報が表示されます。



- 本体からはリモコンに対して4台分の電源しか供給できません。非常リモコン、マルチリモコンの総台数を5台以上に設定する場合、マルチリモコンにACアダプターを接続してください。



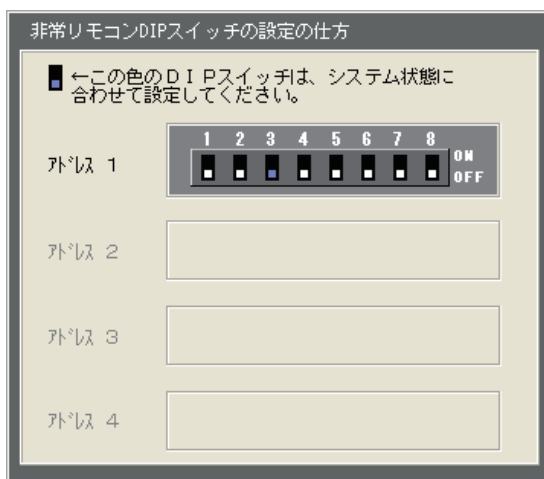
⑤ 非常リモコンDIP スイッチ情報表示

非常リモコンの台数に合わせて、非常リモコン内部にあるDIPスイッチの設定の仕方を表示します。

設定の仕方に合わせて、非常リモコン内部にあるDIPスイッチを設定してください。DIPスイッチ設定の詳細については、非常リモコンの取扱説明書をご覧ください。



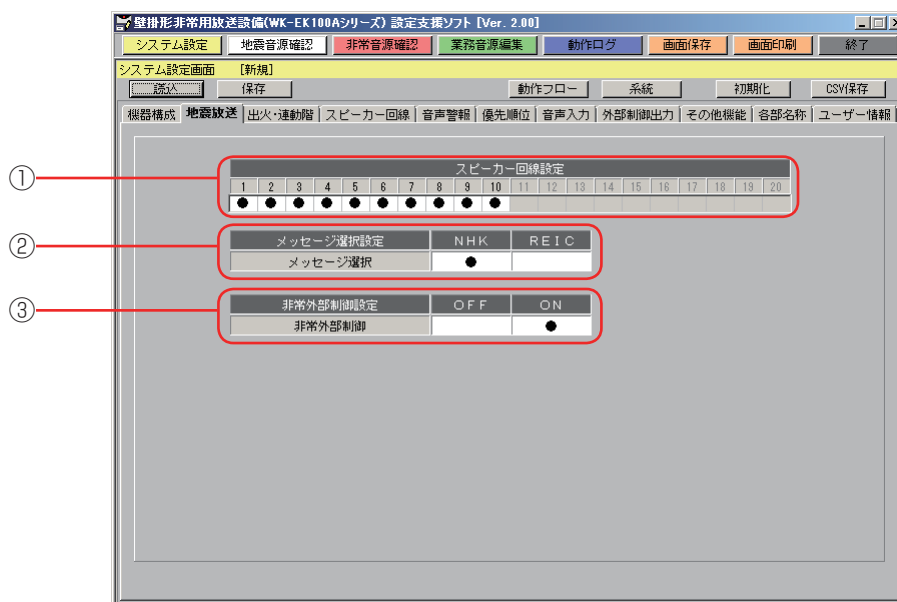
- 青色の DIP スイッチはシステム構成に合わせて設定してください。(表示上の DIP スイッチ情報は初期値です)



システム設定データの作成

地震放送の設定

地震放送時の出力設定を行います。



① スピーカー回線設定

地震放送メッセージに、放送先のスピーカー回線をマトリクス形式で選択します。
設定したいエリア上にマウスポインタを移動し、マウスの左ボタンをクリックすると、「●」が表示されてスピーカー回線が設定されます。
設定を解除する場合は、解除するエリア上にマウスポインタを移動し、マウスの左ボタンをクリックします。
スピーカー回線番号にマウスポインタを当てると、スピーカー回線の名称が表示されます。

② メッセージ選択

地震放送時に放送するメッセージを設定します。
お買い上げ時（初期設定）は、「NHK」に設定されています。

設定	説明
NHK	「NHKチャイム音」と音声メッセージを放送します。
REIC	「REICシグナル音」と音声メッセージを放送します。

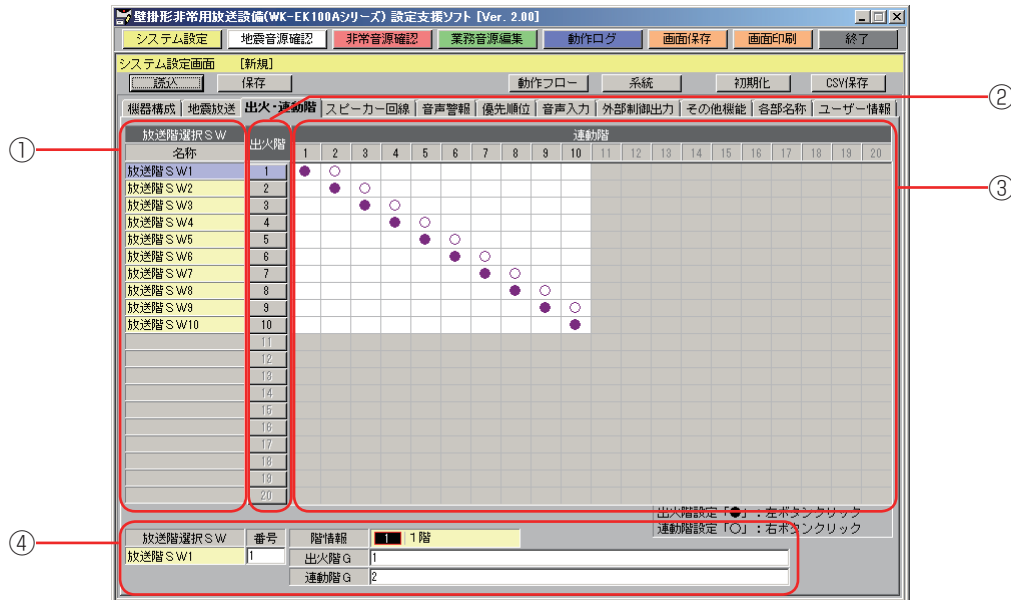
③ 非常外部制御

地震放送中に非常外部制御機能を使用するかどうかを設定します。
お買い上げ時（初期設定）は、「ON」に設定されています。

設定	説明
ON	地震放送中に非常外部を制御(ブレイク)します。
OFF	地震放送中に非常外部を制御しません。

出火階・連動階の設定

非常放送時の出火階（エリア）に対する連動階（エリア）を設定します。
出火階・連動階の設定は、出火・連動階設定画面で行います。



① 放送階選択スイッチ名称表示

出火階に対応する放送階選択スイッチの名称を表示します。

② 出火階番号選択ボタン

クリックすると、出火階情報表示に選択した番号の出火階情報が表示されます。

③ 出火階・連動階設定

非常放送時の出火階（エリア）に対する連動階（エリア）を、マトリクス形式で設定します。

設定したいエリアにマウスポインタを移動し、マウスの左ボタンをクリックすると出火階「●」を、右ボタンをクリックすると連動階「○」を設定します。

設定を解除する場合は、解除するエリアの上にマウスポインタを移動させ、出火階であれば左ボタンを、連動階であれば右ボタンをクリックします。

クリックしたエリアの出火階番号に合わせて、出火階情報表示に出火階の情報が表示されます。



- 出火階設定は、出火階設定したエリアと対称のエリアにも「●」が自動的に設定されます。
- 1つの階に複数の放送階選択スイッチがあるときは、その階のすべてを出火階に設定します。
- 連動階は、出火階によって以下のように設定します。
 - 出火階が2階以上の場合、その直上階およびエレベーターなど
 - 出火階が1階の場合、その直上階（2階）、地下階全部およびエレベーターなど
 - 出火階が地下階の場合、地下階全部、1階およびエレベーターなど

システム設定データの作成

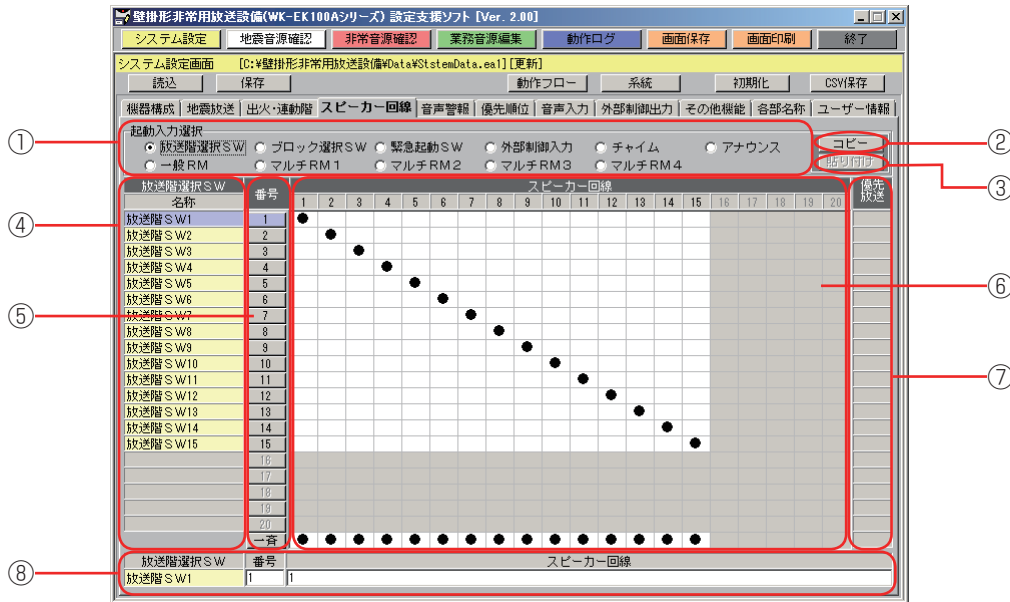
④ 出火階情報表示

[出火階情報選択] ボタンなどで選択された出火階の情報を表示します。
表示する出火階情報は下表のとおりです。

項目	説明
放送階選択SW	選択された出火階の番号に対応する放送階選択スイッチの名称が表示されます。
番号	選択された出火階の番号が表示されます。 キーボードから表示させたい出火階の番号を入力し「Enter」キーを押すと、表示する出火階を変更できます。
階情報	選択された出火階の階情報が表示されます。 ■1■ は、階情報番号を表します。 ■1階■ は、階情報名称を表します。
出火階G	選択された出火階の出火階グループの番号が表示されます。 キーボードから出火階に設定したい出火階の番号を入力し「Enter」キーを押すと、出火階を設定できます。 複数の番号を設定する場合は、番号と番号の間を「, (カンマ)」で区切って入力してください。 (例) : ■出火階G■ ■1,2,3,4■
連動階G	選択された出火階に対する連動階グループの番号が表示されます。 キーボードから連動階に設定したい連動階の番号を入力し「Enter」キーを押すと、連動階を設定できます。 複数の番号を設定する場合は、番号と番号の間を「, (カンマ)」で区切って入力してください。 (例) : ■連動階G■ ■5,6,7,8■

スピーカー回線の設定

各起動のスイッチや接点などの起動入力毎に放送先のスピーカー回線を設定します。
スピーカー回線の設定は、スピーカー回線設定画面で行います。



① 起動入力選択ボタン

設定したい起動入力の種別を選択します。
設定したい起動入力の上でマウスの左ボタンをクリックして、種別を選択します。

② スピーカー回線設定コピーボタン

選択された起動入力のスピーカー回線の設定をコピーします。

③ スピーカー回線設定貼り付けボタン

コピーしたスピーカー回線の設定を任意の起動入力のスピーカー回線に反映します。

④ 起動入力名称表示

各起動入力に対応する名称を表示します。

⑤ 起動入力番号選択ボタン

クリックすると、スピーカー回線表示に選択した番号のスピーカー回線情報が表示されます。

⑥ スピーカー回線設定

各起動のスイッチや接点などの起動入力毎に、放送先のスピーカー回線をマトリクス形式で設定します。

(起動入力緊急起動SWのときは、放送階の設定をします)

設定したいエリアにマウスポインタを移動させ、マウスの左ボタンをクリックするとスピーカー回線「●」が設定されます。

設定を解除する場合は、解除するエリアの上にマウスポインタを移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。
スピーカー回線番号にマウスポインタを当てると、スピーカー回線の名称が表示されます。

クリックしたエリアの起動入力番号に合わせて、スピーカー回線情報表示にスピーカー回線の情報が表示されます。

システム設定データの作成



- スピーカー回線を設定するときは、各スピーカー回線がいずれか 1 つの放送階選択スイッチに属するよう設定します。
- 1 つの放送階選択スイッチに複数のスピーカー回線を設定できます。
- 1 つのスピーカー回線を複数の放送階選択スイッチに設定できません。

⑦ 優先放送設定

放送階選択スイッチ以外の起動入力に対して優先放送を設定します。

設定したいエリアにマウスポインタを移動させ、マウスの左ボタンをクリックすると優先放送「●」が設定されます。

設定を解除する場合は、解除する設定の上にマウスポインタを移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。

クリックしたエリアの起動入力番号に合わせて、スピーカー回線情報表示にスピーカー回線の情報が表示されません。



- 階放送階選択スイッチには優先放送を設定することができません。

⑧ スピーカー回線情報表示

選択された起動入力の番号に対応する名称が表示されます。

(起動入力緊急起動SWのときは、放送階の情報が表示されます)

表示するスピーカー回線情報の内容は、下表のとおりです。

項目	説明		
起動入力名称	選択された起動入力の番号に対応する名称が表示されます。		
起動入力番号	選択された起動入力の番号が表示されます。 キーボードから表示させたい起動入力の番号を入力し「Enter」キーを押すと、表示する起動入力を変更できます。		
スピーカー回線	選択された起動入力の番号に対するスピーカー回線の番号が表示されます。 キーボードから起動入力に対して設定したいスピーカー回線の番号を入力し「Enter」キーを押すと、スピーカー回線を設定できます。 複数の番号を設定する場合は、番号と番号の間を「, (カンマ)」で区切って入力してください。 (例) : <table border="1" data-bbox="582 1563 983 1637"><tr><td>スピーカー回線</td></tr><tr><td>1,2,3,4</td></tr></table>	スピーカー回線	1,2,3,4
スピーカー回線			
1,2,3,4			

音声警報の設定

各出火階に対応する音声警報メッセージを設定します。また、火災発生時の音声警報動作を設定します。音声警報の設定は、音声警報設定画面で行います。



① 発報放送繰り返し間隔設定

発報放送の繰り返し間隔を設定します。設定できる繰り返し間隔は下表のとおりです。初期化時(工場出荷時)は、「無」に設定されています。

設定	説明
無	間隔をあけずに繰り返します。
1～60秒	設定した間隔をあけて繰り返します。

② 発報放送繰り返し回数設定

発報放送の繰り返し回数を設定します。設定できる繰り返し回数は下表のとおりです。初期化時(工場出荷時)は、「2回」に設定されます。

設定	説明
無限回	繰り返し続けます。
2～5回	設定した回数分繰り返します。

③ 火災放送移行タイマー (第1 タイマー) 設定

発報放送から火災放送に移行する時間 (第1タイマー) を設定します。設定できる移行時間は下表のとおりです。初期化時 (工場出荷時) は、「5分00秒」に設定されています。

設定	説明
2:00 ～ 59:59	発報放送後、設定した時間が経過したあとに火災放送を行います。

システム設定データの作成

④ 一斉火災放送指定設定

一斉火災放送移行タイマー（第2タイマー）の有無を設定します。
設定できる放送指定は下表のとおりです。初期化時（工場出荷時）は、「有」に設定されています。

設定	説明
無	第2タイマーを無効にします。
有	第2タイマーを有効にします。

⑤ 一斉火災放送移行タイマー（第2 タイマー）設定

火災放送から一斉火災放送に移行する時間（第2タイマー）を設定します。
設定できる移行時間は下表のとおりです。初期化時（工場出荷時）は、「5分00秒」に設定されています。

設定	説明
0 : 00	火災放送後、すぐに一斉火災放送を行います。
2:00 ~ 59:59	火災放送後、設定した時間が経過したあとに一斉火災放送を行います。

⑥ 言語指定（英語）設定

音声警報で英語放送を行うかを設定します。
設定できる言語指定（英語）は下表のとおりです。初期化時（工場出荷時）は、「無」に設定されています。

設定	説明
無	日本語のみで音声警報を放送します。
有	日本語+英語で音声警報を放送します。

⑦ 言語指定（第2外国語）設定

音声警報で第2外国語放送を行うかを設定します。
設定できる言語指定（第2外国語）は下表のとおりです。初期化時（工場出荷時）は、「無」に設定されています。

設定	説明
無	言語指定（英語）が無のとき、日本語のみで音声警報を放送します。 言語指定（英語）が有のとき、日本語+英語で音声警報を放送します。
有	日本語+英語+第2外国語で音声警報を放送します。



・第2外国語放送を行う場合は、本体に増設非常放送音源が書き込まれていることを確認してください。

⑧ 発信機・手動起動設定

発信機および手動起動時の非常放送で、発報放送または火災放送を放送するか設定します。
設定できる発信機・手動起動は下表のとおりです。初期化時（工場出荷時）は、「発報」に設定されています。

設定	説明
発報	発信機・手動起動時、発報放送を放送します。
火災	発信機・手動起動時、火災放送を放送します。

⑨ 発報連動設定

感知器起動時、発報放送連動または発報連動停止するかを設定します。
設定できる発報連動は下表のとおりです。初期化時（工場出荷時）は、「連動」に設定されています。

設定	説明
連動	感知器起動時、自動的に発報放送を放送します。
停止	感知器起動時、火災音信号をモニタースピーカーに出力します。

⑩ 感知器連動設定

感知器起動時の放送エリアを連動（出火階＋連動階）または連動一斉（一斉放送）するかを設定します。
設定できる感知器連動は下表のとおりです。初期化時（工場出荷時）は、「連動」に設定されています。

設定	説明
連動	放送エリアを連動（出火階＋連動階）にします。
連動一斉	放送エリアを連動一斉（一斉放送）にします。

⑪ 手動連動設定

手動起動時の連動階の放送を、手動連動（連動する）または個別連動（連動しない）するかを設定します。
設定できる手動連動は下表のとおりです。初期化時（工場出荷時）は、「連動」に設定されています。

設定	説明
連動	手動起動時に連動階に放送します。
個別	手動起動時に連動階には放送しません。

⑫ 階情報設定

各EL信号に対する音声警報メッセージ（階情報）を設定します。
設定できる階情報は下表のとおりです。初期化時（工場出荷時）は、各EL信号の番号と同じ階情報番号の階情報が設定されています。

設定	説明
階情報番号：1～49	標準階情報を設定します。
階情報番号：50～255	増設階情報を設定します。
階情報番号：0	階情報を設定しません（放送しない）。



- 同じ出火階グループに設定された EL 信号（放送階選択スイッチ）の階情報は、同一になります。

システム設定データの作成

⑬ 階情報管理データ表示

[選択] ボタンをクリックして、増設階情報管理データファイルを読み込みます。ファイルを読み込むと、増設階情報を表示します。

表示される項目は下表のとおりです。

項目	説明
番号	階情報の番号を表示します。 標準階情報：1～49 増設階情報：50～255
階情報	階情報に対する名称を表示します。



- 階情報名称が設定されていない場合、階情報設定と階情報管理データ表示の階情報名称には「-」が表示されます。

E L	階情報
1	50 -

番号	階情報
50	-

- 階情報管理データファイルが読み込まれていない場合、階情報設定と階情報管理データ表示の階情報名称には標準名称が表示されます。(増設階情報は、「-」が表示されます)

E L	階情報
1	1 1階

番号	階情報
1	1階

- 階情報設定では、増設階情報管理データが読み込まれていない場合でも、増設階情報を設定することができます。ただし、階情報設定を行う時に増設階情報を設定する場合は、本体に増設非常放送音源が書き込まれていることを確認してください。本体に増設非常放送音源が書き込まれていないのに設定を行うと、本体から増設階の非常放送音源は放送されません。

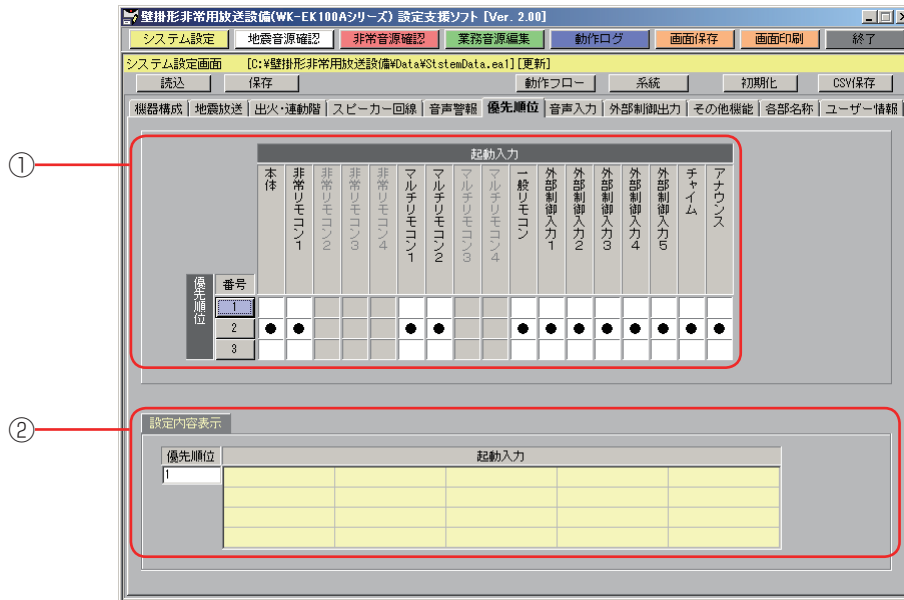
E L	階情報
1	47 バックヤード
2	48 エレベーター機械室
3	49 エネルギーセンター
4	50 -
5	51 -
6	52 -
7	53 -

番号	階情報
47	バックヤード
48	エレベーター機械室
49	エネルギーセンター
50	-
51	-
52	-
53	-
54	-

- 増設非常放送音源データファイルおよび増設階情報管理データファイルは、メーカーがお客様からのご注文に応じて作成し、提供させていただくものです。

優先順位の設定

各起動入力の業務放送時の優先順位を設定します。
優先順位の設定は、優先順位設定画面で行います。



① 優先順位設定

各起動入力に対して優先順位を設定します。
優先順位の設定対象となる起動入力は次のとおりです。

- ・ 本体
- ・ 非常リモコン 1 ～ 4
- ・ マルチリモコン 1 ～ 4
- ・ リモコンマイク (一般リモコン)
- ・ 外部制御入力 1 ～ 5
- ・ チャイム制御入力
- ・ アナウンス制御入力

起動入力の優先順位は、設定エリアをクリックして設定します。

設定できる優先順位は下表のとおりです。初期化時 (工場出荷時) は、「第2位」に設定されています。

設定	説明
第1位	優先レベル 高
第2位	優先レベル 中
第3位	優先レベル 低



- ・ 非常リモコン、マルチリモコンの優先順位を設定する場合は、機器構成設定画面で各リモコンの台数を設定してください。設定したリモコンの台数分だけ、優先順位の設定を行うことができます。
- ・ 同順位の起動入力は、後入力が優先的に放送されます。

システム設定データの作成

② 優先順位設定内容表示

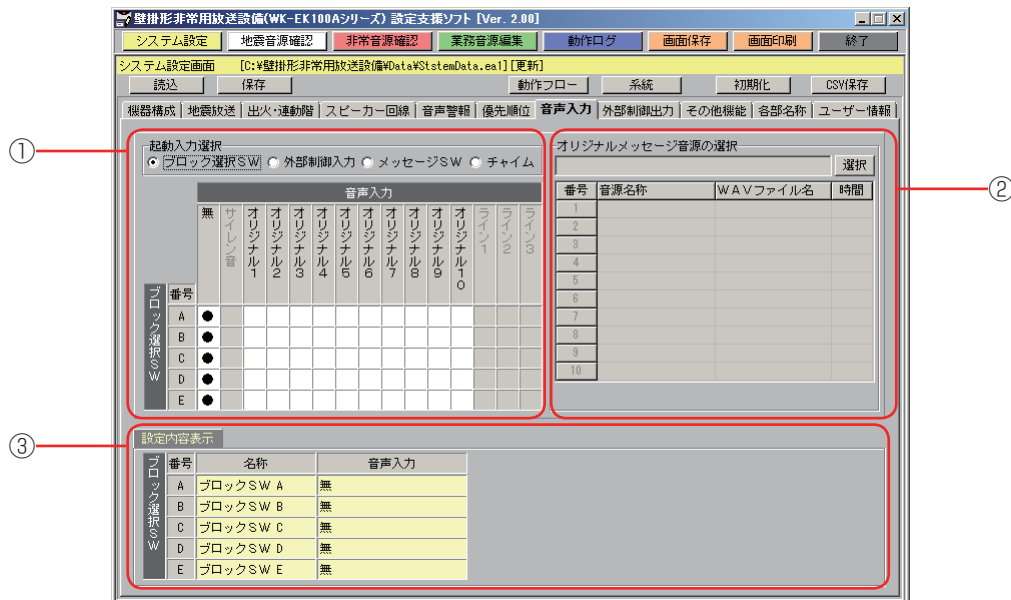
設定した優先順位の内容が表示されます。
表示される内容は下表のとおりです。

項目	説明
優先順位	優先順位の番号です。優先順位の番号を数値で入力できます。
起動入力	優先順位に応じた起動入力が表示されます。

音声入力の設定

ブロック選択スイッチ、外部制御入力、メッセージスイッチでオリジナルメッセージやライン1～3入力の音声入力を放送するときに設定します。

音声入力の設定は、音声入力設定画面で行います。



① 起動入力・音声入力設定

1) 起動入力として、「ブロック選択SW」、「外部制御入力」、「メッセージSW」選択時、各起動入力が起動したときに、放送する音声入力を設定します。

音声入力の設定対象となる起動入力は次のとおりです。

- ・ ブロック選択スイッチ A～E
- ・ 外部制御入力 1～5
- ・ メッセージスイッチ 1～2

設定できる音声入力は下表のとおりです。

起動入力の音声入力は設定エリアをクリックして設定します。

設定	説明	初期化時				初期化時			
		ブロック選択	外部制御	メッセージスイッチ		ブロック選択	外部制御	メッセージスイッチ	
		A～E	1～5	1	2	A～E	1～5	1	2
無	音声入力はありません。	●	●			○	○	—	○
サイレン	内蔵のサイレン音を入力します。			●		—	—	○	—
オリジナル1～10	オリジナルメッセージの音源を入力します。				●※	○	○	○	○
ライン1～3	ラインから音声入力します。					—	○	—	—

●：初期化したときの設定値です。

○：設定できる音声入力です。

※：オリジナルメッセージ1となります。

—：設定できない音声入力です。

システム設定データの作成

2) 起動入力として、「チャイム」を選択時、設定できる音声入力は下表のとおりです。

設定	説明	初期化時	初期化時
		チャイム1	チャイム1
ライン入力	ラインからチャイム入力します。		○
チャイム音源 1～3	チャイム音源を入力します。	● (音源1)	○

●：初期化したときの設定値です。 ○：設定できる音声入力です。



・1つの起動入力に複数の音声入力は設定できません。

② オリジナルメッセージ音源の内容表示

音声入力として設定するオリジナルメッセージの音源を確認したい場合、業務放送音源ファイルを参照して、オリジナルメッセージの内容を取得して表示します。

[選択] ボタンをクリックして業務放送音源ファイルを選択します。

ファイルが選択されると、ファイル名称が表示されます。また、オリジナルメッセージの内容として、音源名称、WAVファイル名、再生時間が一覧リストに表示されます。

音源がない場合は、リストの背景が灰色で表示されます。

③ 音声入力設定内容表示

起動入力に設定されている音声入力を表示します。表示される内容は下表のとおりです。

項目	説明
名称	起動入力の名称が表示されます。
音声入力	音声入力設定で設定した内容が表示されます。

外部制御出力の設定

外部制御出力を使って、外部音源機器などの制御や放送状態信号を使用するときに設定します。
外部制御出力1～5の動作条件を設定します。
外部制御出力の設定は、外部制御出力設定画面で行います。



① 外部制御出力設定

外部制御出力1～5の動作条件を設定します。動作状態および起動入力に連動して制御するか設定します。
外部制御出力の動作条件は、設定エリアをクリックして設定します。外部制御出力の動作条件は複数選択できます。
設定できる動作条件は下表のとおりです。初期化時（工場出荷時）は、動作条件には何も設定されていません。

設定	説明
地震放送中	地震放送時に出力します。
音声警報出力中	音声警報出力時に出力にします。
発報放送中	発報放送中に出力にします。
火災放送中	火災放送中に出力にします。
一斉火災放送中	一斉火災放送時に出力にします。
非火災放送中	非火災放送中に出力にします。
マイク放送中	非常放送のマイク放送中に出力にします。
異常発生中	異常が発生したときに出力にします。
業務放送中	業務放送中に出力にします。
点検中	点検モード中に出力にします。
緊急放送中	緊急放送中に出力にします。
ブロック選択スイッチA～E	各ブロック選択スイッチを押したときに出力します。



・ 1 つの外部制御出力に複数の動作状態や起動スイッチが設定できます。

システム設定データの作成

② 外部制御出力設定内容表示

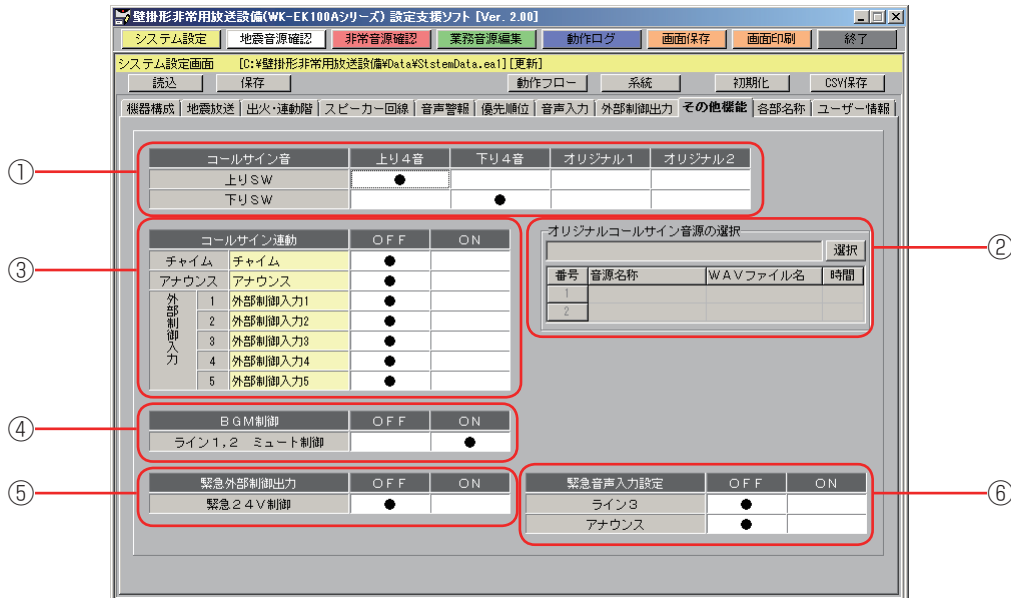
番号ボタンで選択した外部制御出力の名称と動作条件を表示します。表示される内容は下表のとおりです。

項目	説明
番号	選択された外部制御出力の番号が表示されます。キーボードから入力することもできます。
名称	選択された番号に対応する外部制御出力の名称が表示されます。
動作状態／起動SW	外部制御出力設定で設定した内容が表示されます。

その他機能の設定

その他機能（コールサイン音、各起動に対するコールサイン連動、BGM制御、緊急外部制御出力、緊急放送時の音声入力）について設定します。

その他機能の設定は、その他機能設定画面で行います。



① コールサイン音設定

コールサインスイッチ（上り／下り）に対して鳴動する音源を設定します。

コールサイン音は設定エリアをクリックして設定します。

設定できるコールサイン音は下表のとおりです。初期化時（工場出荷時）は、コールサインスイッチ（上り）に「上り4音」の音源が設定され、コールサインスイッチ（下り）に「下り4音」の音源が設定されています。

設定	説明
上り4音	標準コールサイン音源（上り）が鳴動します。
下り4音	標準コールサイン音源（下り）が鳴動します。
オリジナル1	オリジナルコールサイン1の音源が鳴動します。
オリジナル2	オリジナルコールサイン2の音源が鳴動します。

② オリジナルコールサイン音源の内容表示

コールサイン音として設定するオリジナルコールサインの音源を確認したい場合、業務放送音源ファイルを参照して、オリジナルコールサインの内容を取得して表示します。

[選択] ボタンをクリックして業務放送音源ファイルを選択します。

ファイルが選択されると、ファイル名称が表示されます。また、オリジナルコールサインの内容として、音源名称、WAVファイル名、再生時間が一覧に表示されます。

システム設定データの作成

③ コールサイン連動設定

各起動入力の放送開始、終了時にコールサインが連動して放送するときに設定します。
コールサイン連動の設定対象となる起動入力は次のとおりです。

- ・ チャイム制御入力
- ・ アナウンス制御入力
- ・ 外部制御入力 1～5

コールサイン連動は設定エリアをクリックして設定します。
初期化時（工場出荷時）は、「OFF」に設定されています。

設定	説明
ON	放送の起動に連動してコールサインの音源を鳴動します。
OFF	放送の起動に連動してコールサインの音源を鳴動しません。

④ BGM制御設定

ライン1、2およびチューナーの音声を、起動入力放送時にミュートするかどうかを設定します。
BGM制御は設定エリアをクリックして設定します。
初期化時（工場出荷時）は、「ON」に設定されています。

設定	説明
ON	ライン1、2 およびチューナーの音声を起動入力放送時にミュートして放送します。
OFF	ライン入力およびチューナーの音声を起動入力放送時には放送しません。

⑤ 緊急外部制御出力設定

緊急放送時にローカルアンプの放送を止める非常外部制御出力の制御を行うかどうかを設定します。
緊急外部制御は設定エリアをクリックして設定します。
初期化時（工場出荷時）は、「OFF」に設定されています。

設定	説明
ON	緊急放送時に非常外部制御出力の制御を行います。
OFF	緊急放送時に非常外部制御出力の制御を行いません。

⑥ 緊急音声入力設定

緊急放送時にライン音声入力3、アナウンス入力を放送するかどうかを設定します。
緊急音声入力の設定対象となる起動入力は次のとおりです。

- ・ ライン音声入力 3
- ・ アナウンス制御入力

緊急音声入力は設定エリアをクリックして設定します。
初期化時（工場出荷時）は、「OFF」に設定されています。

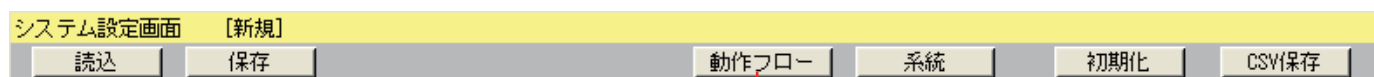
設定	説明
ON	緊急放送時に放送します。
OFF	緊急放送時に放送しません。

非常放送動作フローの表示

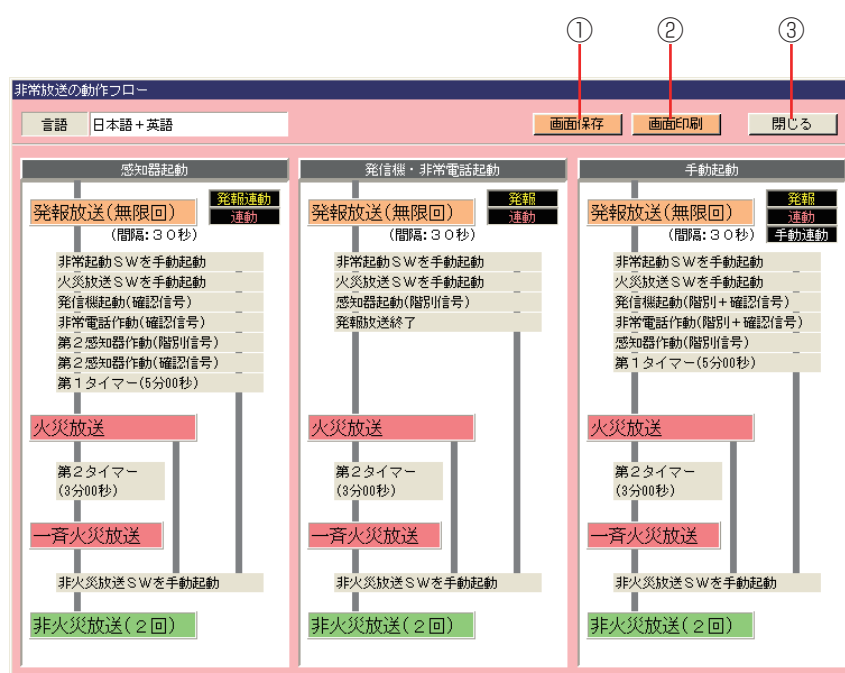
非常放送の感知器起動、発信機・非常電話起動、手動起動の各起動の動作フローを表示します。

音声警報設定画面で設定したデータを元に表示されます。

システム設定画面でメニューバーの「動作フロー」ボタンをクリックすることにより、非常放送の動作フロー表示画面が表示されます。



「動作フロー」ボタン



① **【画面保存】 ボタン**

クリックすると、動作フローを画像ファイルとして保存できます。

② **【画面印刷】 ボタン**

クリックすると、動作フロー画面を印刷できます。

③ **【閉じる】 ボタン**

クリックすると、非常放送の動作フロー表示画面が閉じ、システム設定画面に戻ります。

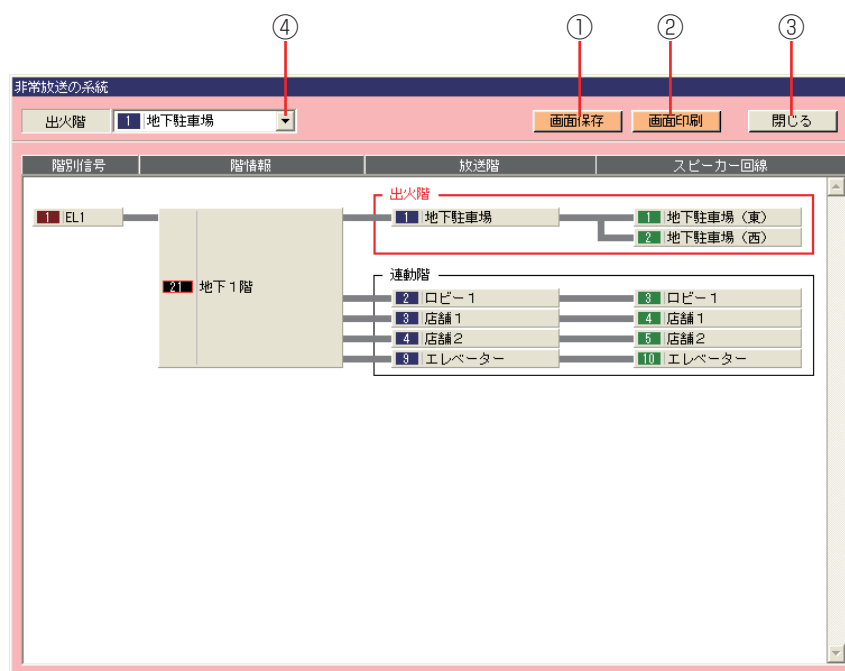
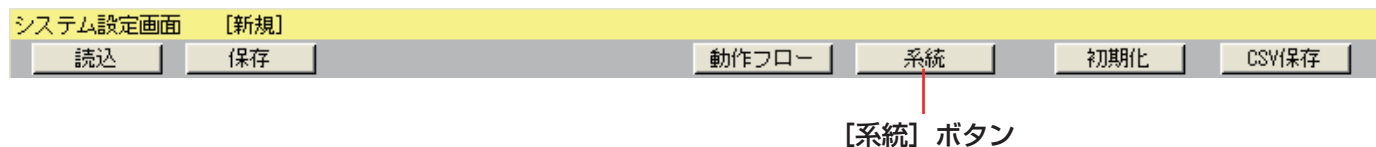
システム設定データの作成

非常放送系統の表示

各放送階選択スイッチに対しての階別信号、音声警報階情報、出火階グループ、連動階グループ、スピーカー回線の関係を表系統図として表示します。

出火・連動階設定、スピーカー回線設定、音声警報設定で設定したデータを元に表示されます。

システム設定画面でメニューバーの「系統」ボタンをクリックすることにより、非常放送の系統表示画面が表示されます。



① [画面保存] ボタン

クリックすると、系統図を画像ファイルとして保存できます。

② [画面印刷] ボタン

クリックすると、系統図を印刷できます。

③ [閉じる] ボタン

クリックすると、非常放送の系統表示画面が閉じ、システム設定画面に戻ります。

④ [出火階] ボタン

クリックし、出火階を選択すると、選択した出火階の系統表示画面が表示されます。

地震放送音源の確認

地震放送音源確認画面の概要

地震放送音源確認画面では、地震放送音源の試聴をします。

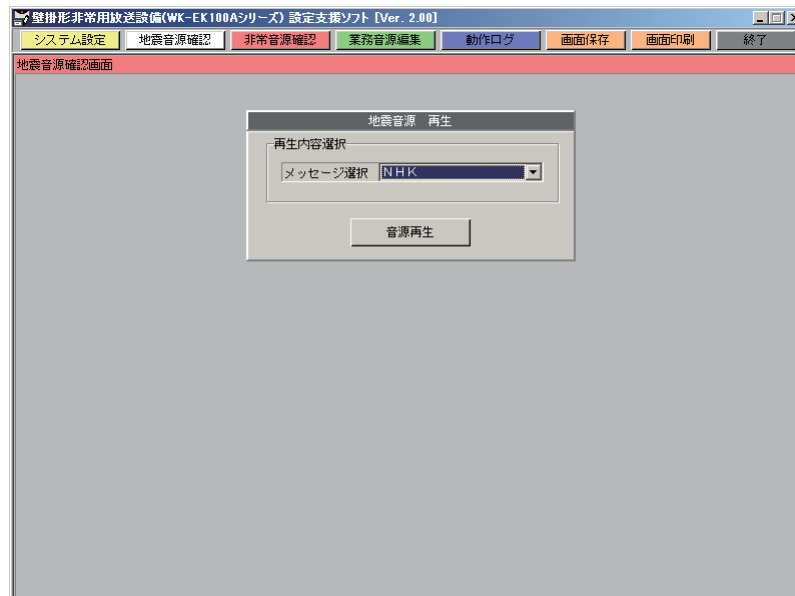
●地震放送音源確認画面への移行

メニュー画面で、[地震音源確認] ボタンをクリックします。

[地震音源確認] ボタン



●地震放送音源確認画面



地震放送音源の確認

音声テスト

非常放送音源データファイルに登録されている地震放送音源データを再生・試聴します。
音声テストは、音声テスト画面で行います。



① メッセージ種別選択

試聴するメッセージの種別を選択します。
選択できるメッセージ種別は下表の通りです。

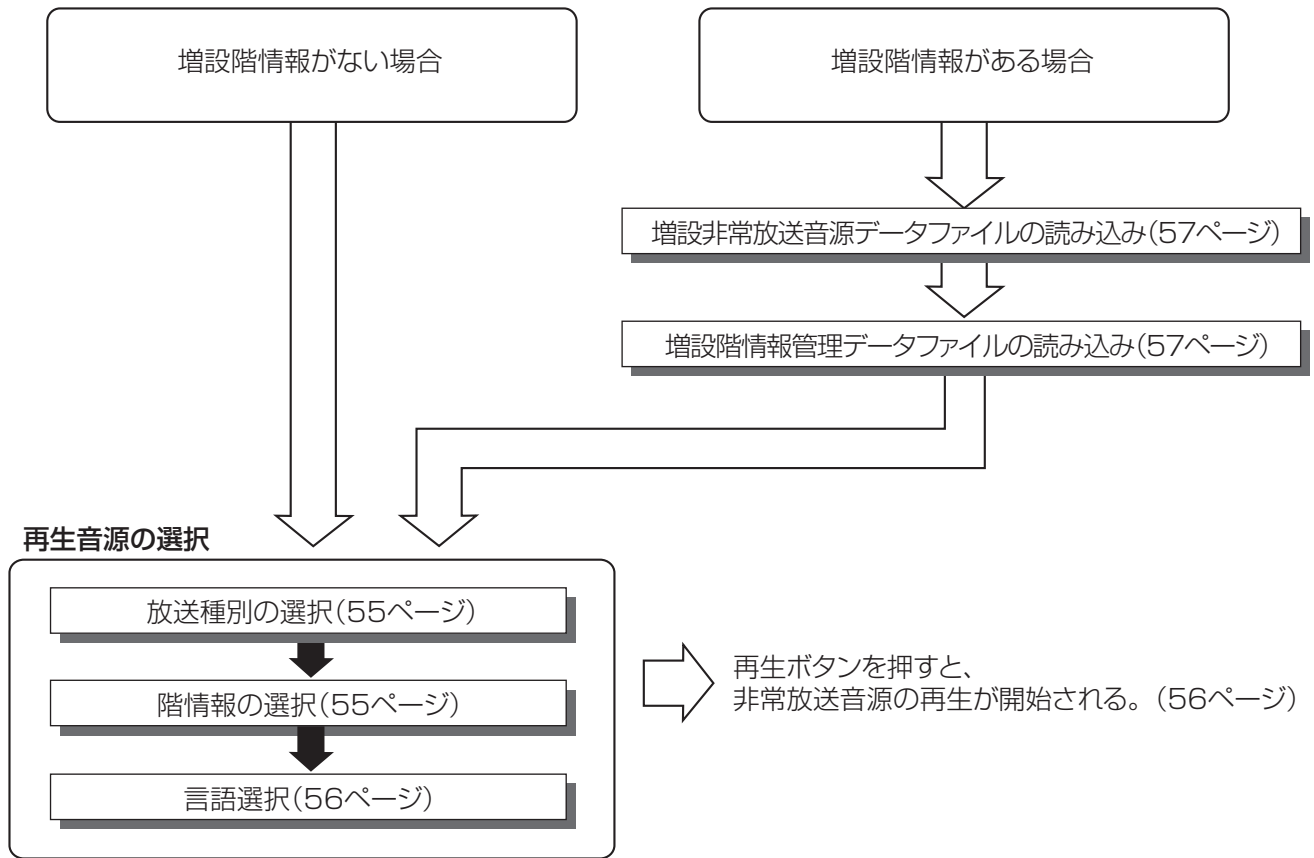
設定	説明
NHK	NHK（日本放送協会）の緊急地震速報チャイム音＋音声メッセージを試聴します。
REIC	REIC（リアルタイム地震・防災情報利用協議会）の緊急地震速報サイン音＋音声メッセージを試聴します。

② 音源の再生

メッセージ種別選択の内容に合わせて音源を再生します。
[音源再生] ボタンをクリックすると、再生を開始します。

非常放送音源の確認

非常放送音源の確認の流れ

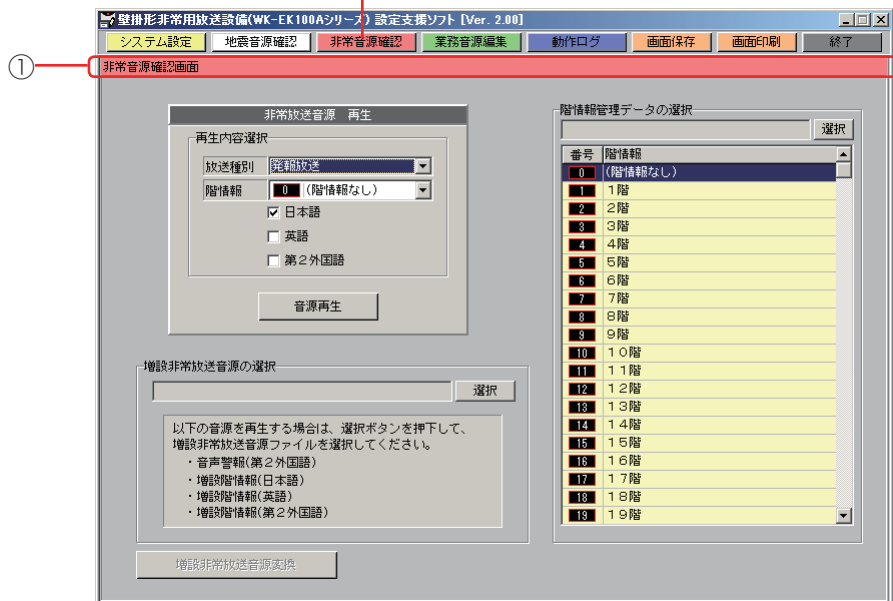


- 増設非常放送音源データファイル、増設階情報管理データファイルは、メーカーがお客様からのご注文に応じて作成し、提供させていただくものです。ご注文されていない場合は増設階情報音源を使用できません。

非常放送音源の概要

非常放送音源の確認機能では、非常放送音源の試聴、階情報管理データの確認を行います。
非常放送音源の確認は、非常音源確認画面で行います。
非常音源確認画面は、メニューバーの「非常音源確認」ボタンをクリックすると表示されます。

「非常音源確認」ボタン

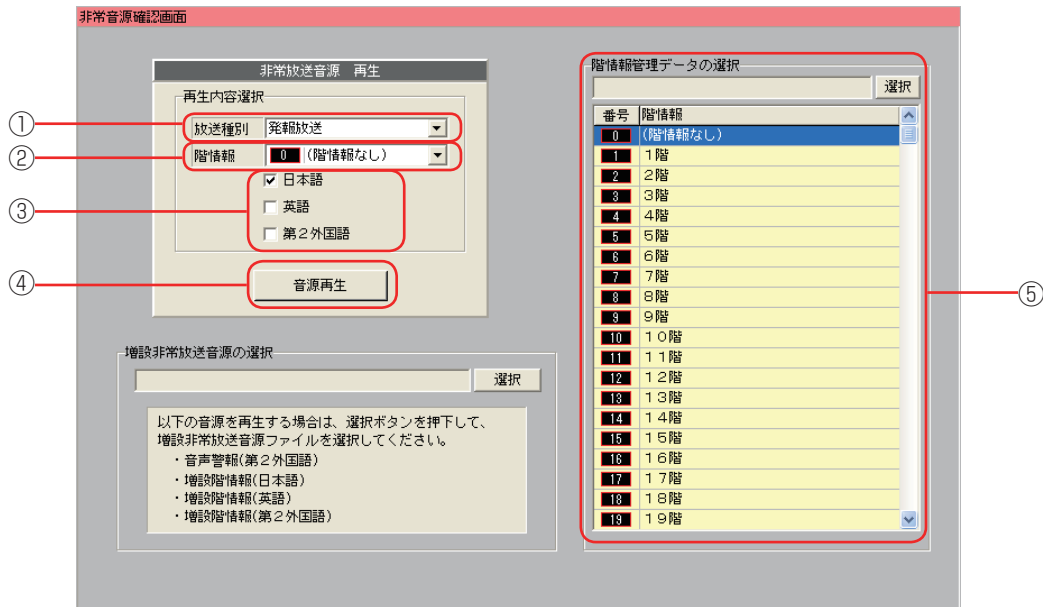


① タイトルバー

非常音源確認画面が表示されていることを表します。

非常放送音源の試聴

非常放送音源データファイルに登録されている非常放送音源データを再生・試聴します。
発報放送、火災放送などの非常放送を、放送種別ごとに試聴することができます。



① 放送種別選択

試聴する放送の種別を選択します。
選択できる放送種別は下表のとおりです。

項目	説明
発報放送	発報放送を試聴します。
火災放送	火災放送を試聴します。
非火災放送	非火災放送を試聴します。

② 階情報選択

試聴する音声警報メッセージに含まれる階情報を選択します。
選択できる階情報は下表のとおりです。

項目	説明
階情報番号：1～49	標準階の音声警報メッセージを試聴します。
階情報番号：50～255	増設階の音声警報メッセージを試聴します。



- 増設階の音声警報メッセージを試聴する場合は、増設非常放送音源データファイルを読み込む必要があります。

非常放送音源の確認

③ 言語選択

試聴する放送の言語を選択します。チェックマークが表示されている言語で放送されます。

選択できる言語は下表のとおりです。

複数選択した場合、日本語、英語、第2外国語の順で放送を試聴します。

項目	説明
日本語	日本語で試聴します。
英語	英語で試聴します。
第2外国語	第2外国語で試聴します。



- 第2外国語で試聴する場合は、増設非常放送音源データファイルを読み込む必要があります。
- 選択した増設非常放送音源データファイルに第2外国語の音源データが登録されていない場合は、第2外国語で試聴することはできません。

④ 音源の再生

放送種別選択、階情報選択、言語選択の内容に合わせて音源を再生します。

[音源再生] ボタンをクリックすると、音源再生ソフトが起動し、音源が再生されます。



- 音源の停止や繰り返しは音源再生ソフトで行ってください。
- 音源がない場合、[音源再生] ボタンをクリックしても音源は再生されません。
- 音源を再生する前に音源再生ソフトが起動していないことを確認してください。また、音源の再生終了後は音源再生ソフトを終了してください。

⑤ 階情報の確認

非常放送音源データファイルに階情報が登録されているかを確認します。

また、登録されている階情報の名称を確認できます。

階情報の確認は、階情報管理データファイルを読み込んで行います。

階情報管理データファイルとは、共に配布される非常放送音源データファイルと共に階情報についての情報を保持しているファイルです。

非常放送音源の試聴時に選択した非常放送音源データファイルの階情報を確認したい場合は、そのファイルと共に配布された階情報管理データファイルを読み込んでください。

増設非常放送音源データファイルの読み込み

第2外国語、増設階情報の音源を試聴するために増設非常放送音源データファイルを選択します。

[選択] ボタンをクリックし、読み込む増設非常放送音源データファイルを選択します。

増設非常放送音源データファイルを選択していない場合、以下の音源を試聴することはできません。

- 音声警報（第2外国語）
- 増設階情報（日本語）
- 増設階情報（英語）
- 増設階情報（第2外国語）

増設階情報管理データファイルの読み込み

[選択] ボタンをクリックして、階情報管理データファイルを読み込みます。

ファイルを読み込むと、標準階情報と増設階情報の名称を表示します。

増設階情報の音源がない場合、項目の背景色が灰色で表示されます。

階情報名称が設定されていない場合は、“-”で表示されます。

表示する項目は下に示す表のとおりです。

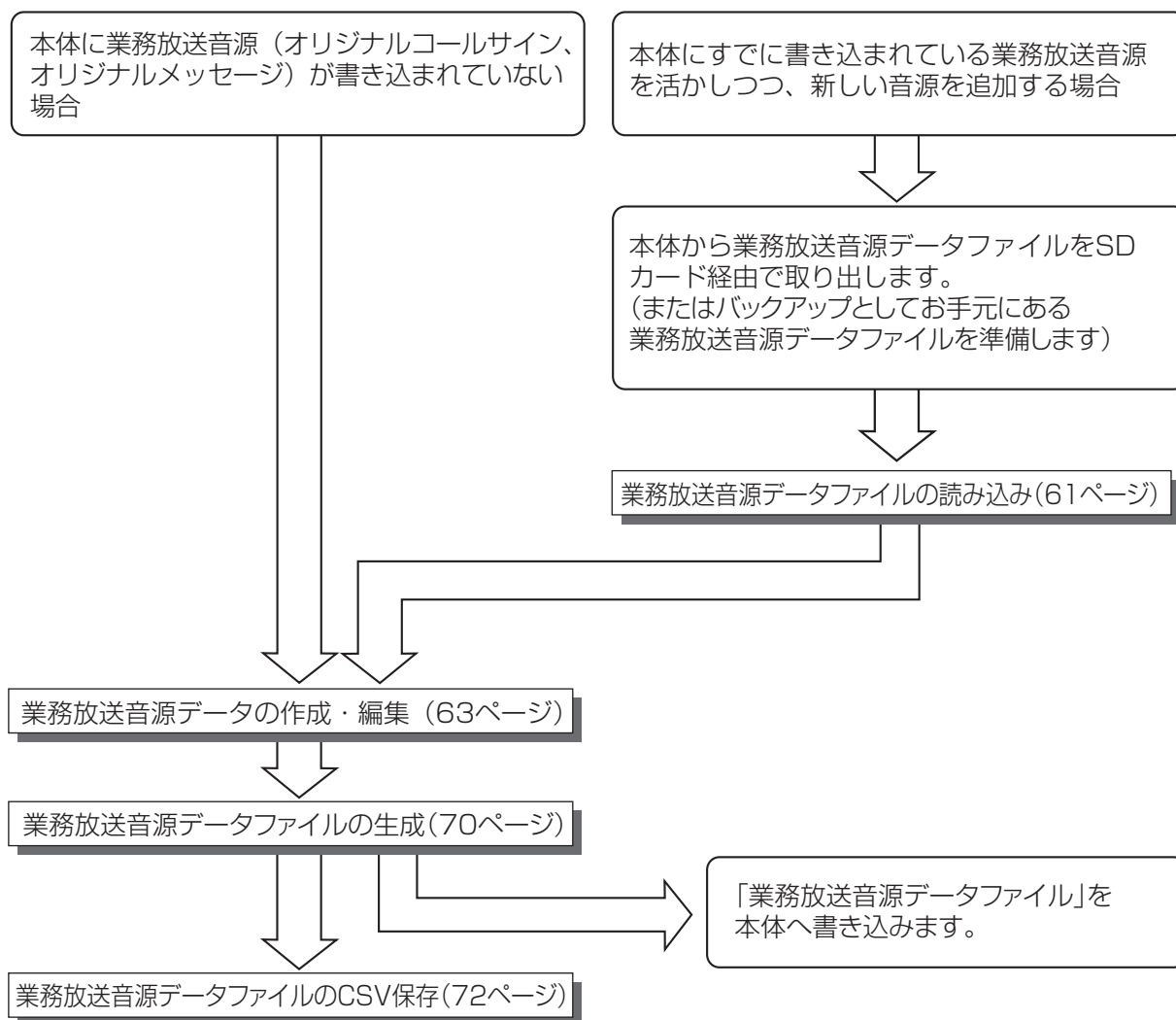
項目	説明
階情報番号	階情報の番号を表示します。 標準階情報： 1～49 増設階情報： 50～255
階情報名称	階情報に対する名称を表示します。



- 増設階情報管理データファイルは、メーカーがお客様からのご注文に応じて作成し、提供させていただくものです。
- 「ファイルの種類」を“増設非常放送音源データ (*.em2)”にすることで WK-EK100 シリーズの増設非常放送音源データ (.em2) を読み込むことができます。
読み込んだ増設非常放送音源データを WK-EK100A シリーズの増設非常放送音源データ (.emb) に変換して保存したり、本体に書き込むことができます。

業務放送音源の編集

業務放送音源の編集の流れ



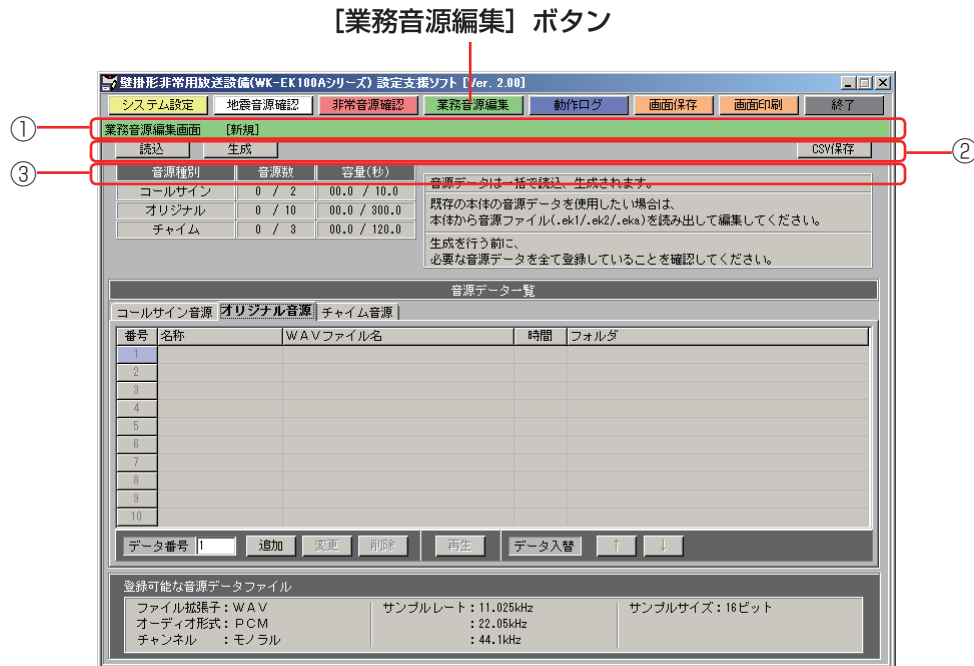
- 本体に「業務放送音源データファイル」を書き込むと、本体にすで書き込んであるオリジナルコールサインとオリジナルメッセージは、このファイルに含まれているオリジナルコールサインとオリジナルメッセージに上書きで書き換えられます。（「業務放送音源データファイル」にオリジナルコールサインとオリジナルメッセージが含まれていない場合は、消去されることとなります）
したがって、本体に書き込まれているオリジナルコールサインまたはオリジナルメッセージを残しつつ、さらに新しい音源を追加したい場合は、本体に書き込まれている業務放送音源データファイルをSDカード経由で取り出すか、バックアップしてあったお手元の業務放送音源データファイルを設定支援ソフトで読み込んだ上で業務放送音源データファイルの生成をする必要があります。

業務放送音源の編集の概要

業務放送音源データ編集機能では、オリジナルコールサインやオリジナルメッセージの業務放送音源の生成・試聴を行います。

業務放送音源データ編集は、業務音源編集画面で行います。

業務音源編集画面は、メニューバーの「業務音源編集」ボタンをクリックすると表示されます。



① タイトルバー

業務音源編集画面が表示されていることを表します。

また、業務放送音源データファイルの読み込み時・生成時に指定した業務放送音源データファイルの名称を表示します。

業務音源編集画面 [C:\壁掛形非常用放送設備\Data\standard.eka]

業務放送音源データファイルの読み込み・生成を行ったあとに、業務音源編集画面で設定を変更・削除した場合、業務音源編集画面のデータとファイルのデータが異なることを表すため、ファイル名の後ろに「更新」が表示されます。

業務音源編集画面 [C:\壁掛形非常用放送設備\Data\standard.eka] [更新]

本アプリケーション起動直後など、業務放送音源データファイルが指定されていない場合は、ファイル名のかわりに「新規」と表示されます。

業務音源編集画面 [新規]

業務放送音源の編集

②メニューバー

メニューバー上の各ボタンをクリックすることにより、各機能を実行できます。

ボタン名称	説明	参照ページ
読込	業務放送音源データファイルを読み込みます。 また同時に、業務放送音源ファイル内の音源をWAVファイルとして出力します。 ボタンをクリックすると、業務放送音源データ読み込み画面が表示されます。	61
生成	業務放送音源データファイルを生成します。 ボタンをクリックすると、業務放送音源データ保存画面が表示されます。	70
CSV保存	業務放送音源データファイルの内容をCSVファイルに保存します。 ボタンをクリックすると、業務放送音源データCSV保存画面が表示されます。	72

③ページ選択タブ

各タブをクリックすることにより、各編集画面を表示することができます。

タブ名称	説明
コールサイン音源	クリックすると、コールサイン音源編集画面が表示されます。
オリジナル音源	クリックすると、オリジナル音源編集画面が表示されます。
チャイム音源	クリックすると、チャイム音源編集画面が表示されます。

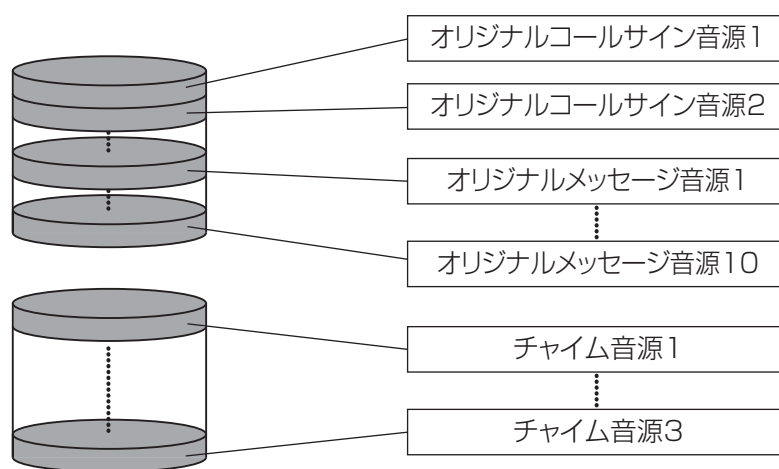
業務放送音源データファイルの読み込み

業務放送音源データファイルを読み込むと、読み込んだ音源ファイルに格納されている音源WAVデータの情報を音源データ一覧に表示されます。

表示される情報は、音源WAVデータの名称、音源WAVデータファイル名、音源WAVデータの再生時間、音源WAVデータファイルのフォルダです。

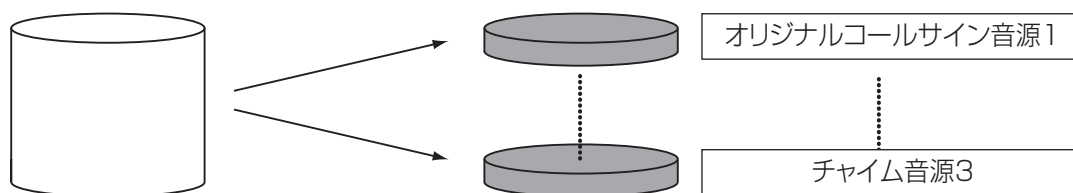
また業務放送音源データファイルの読み込みと同時に、読み込んだ業務放送音源データ情報を元に音源WAVデータを出力します。

- 業務放送音源データファイルとは、eka形式でオリジナルコールサイン音源、オリジナルメッセージ音源、チャイム音源が格納されているファイルです。



業務放送音源データファイル (eka形式)

- WAV出力とは、業務放送音源データファイル (eka形式) に格納されている各音源を、WAV形式のファイルとして出力 (作成) することです。



業務放送音源データファイル (eka形式)

音源WAVデータファイル

業務放送音源の編集

業務放送音源データファイルを読み込む方法は以下のとおりです。
ekaファイルとWK-EK100用のek1/ek2ファイルを読み込み可能です。CSVファイルを読み込むことはできません。

操作手順

1 業務音源編集画面のメニューバーの【読み込】ボタンをクリックします

業務放送音源データ読み込み画面が表示されます。



- 「ファイルの種類」を“業務放送音源データ (*.ek1/*.ek2)” にすることで WK-EK100 シリーズの業務放送音源データ (.ek1/.ek2) を読み込むことができます。
読み込んだ業務放送音源データをWK-EK100Aシリーズの業務放送音源データ (.eka) に変換して保存したり、本体に書き込むことができます。



2 【選択】ボタンをクリックし、読み込む業務放送音源データファイルを選択します

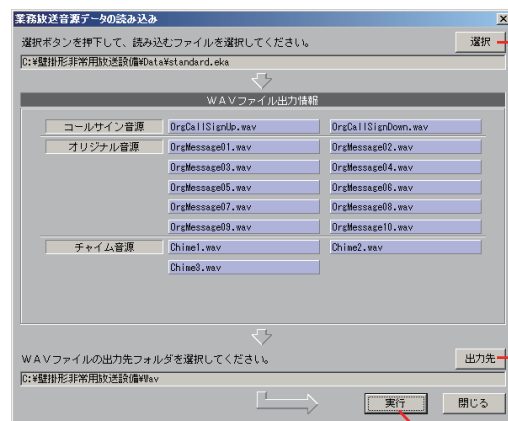
業務放送音源データファイルのファイル名と音源WAVデータ情報が表示されます。

3 【出力先】ボタンをクリックし、出力するWAVファイルの出力先フォルダを選択します

指定したWAV 出力先フォルダが表示されます。

4 選択したファイルとWAV出力先を確認し、【実行】ボタンをクリックします

読み込み・WAV出力が完了すると、業務音源編集画面に戻ります。



- ファイルの読み込みについての詳細は、ファイル読み込み／保存の手順 (80 ページ) を参照してください。
- 上書きで出力しない場合、WAV 出力先のフォルダを変更するか、エクスプローラ等で既存の WAV ファイルの名称を変更してください。
- WAV 出力に失敗した場合、WAV ファイルは生成されません。

業務放送音源データの作成・編集

業務放送音源データファイルを読み込むと、読み込んだファイルの業務放送音源データの情報が一覧表示されます。表示される情報は、音源WAVデータの名称、音源WAVデータファイル名、音源WAVデータの再生時間、音源WAVデータファイルのフォルダです。

業務放送音源データファイルの生成を行うために、追加・変更・削除などの、音源データの編集を行います。登録できる音源は、下表に示す形式の音源WAVファイルのみです。

項目	値
サンプルレート	11.025 kHz 22.05 kHz 44.1 kHz
チャンネル	モノラル
サンプルサイズ	16ビット

音源の種類によって、登録できる音源の数、音源の容量が決まっています。追加・変更・削除するとき、登録できる範囲内に収まるように編集します。

最大音源数、最大音源容量は下表のとおりです。

音源の種類	最大音源数	最大合計容量
コールサイン音源	2	10.0秒
オリジナルメッセージ音源	10	300.0秒
チャイム音源	3	120.0秒

音源の種類別に編集画面に表示されます。

表示される情報や追加・変更・削除などの編集方法は、各編集画面で共通です。

① 音源種類
② 音源数
③ 容量(秒)
④ 音源データ一覧
⑤ 番号
⑥ 名称
⑦ WAVファイル名
⑧ 時間
⑨ フォルダ
⑩ 追加
⑪ 変更
⑫ 削除
⑬ 再生
⑭ データ入替

業務放送音源の編集

以下の表に各部の説明を示します。

番号	画面の名称	説明
①	音源種別表示部	音源データの種別を表示します。
②	音源数表示部	音源データ一覧に登録されている音源WAVデータの数登録数／最大数で表示します。
③	音源容量表示部	音源データ一覧に登録されている音源WAVデータの合計容量登録容量／最大容量で表示します。
④	音源名称表示部	音源WAV データの名称を表示します。 ダブルクリックすると、音源WAVデータの名称を変更することができます。
⑤	番号選択ボタン	クリックした番号の音源WAV データを選択します。 音源WAVデータを選択すると、選択した番号がデータ番号エディットに表示されます。
⑥	WAVファイル名表示部	音源WAVデータのファイル名を表示します。 WAVファイル名が表示されていない場合、音源WAV データはありません。
⑦	再生時間表示部	音源WAVデータの再生時間を秒単位で表示します。
⑧	フォルダ表示部	音源WAVデータファイルが格納されているフォルダ名を表示します。
⑨	データ番号エディット	選択している音源WAVデータの番号を表示します。 数値を入力すると、入力した番号の音源WAVデータを選択できます。
⑩	音源WAVデータ追加ボタン	音源データ一覧に音源WAVデータを追加します。 クリックすると、音源データ追加画面が表示されます。 追加するWAV形式の音源ファイルを選択します。
⑪	音源WAVデータ変更ボタン	音源データ一覧で選択している番号の音源WAVデータを変更します。 クリックすると、音源データ変更画面が表示されます。 新しい音源WAVデータファイルを選択します。
⑫	音源WAV データ削除ボタン	選択している番号の音源WAVデータを音源データ一覧から削除します。 クリックすると、音源WAVデータ削除画面が表示されます。
⑬	音源WAV データ再生ボタン	音源データ一覧で選択している番号の音源WAVデータを再生、試聴します。 クリックすると再生ソフトが起動し、音源を再生します。
⑭	音源WAV データ入れ替えボタン	音源データ一覧で選択している番号の音源WAVデータを、ひとつ前、またはひとつ後の番号の音源WAVデータと入れ替えます。

(1) 音源 WAV データの追加

音源データ一覧に音源WAVデータを追加します。

音源WAVデータの追加は、登録数、登録容量ともに最大値を超えていない場合に行うことができます。

音源WAVデータの追加方法を以下に示します。

操作手順

- 1 [追加] ボタンをクリックします
音源データ追加画面が表示されます。

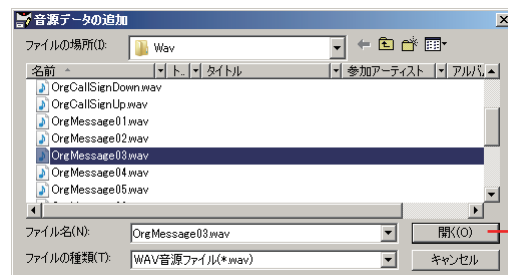


- 2 追加する音源 WAV データファイルを選択後、[開く] ボタンをクリックします

音源データ追加画面が閉じて、登録されていない番号の中で最も若い番号に音源WAVデータが追加されます。

音源WAVデータが追加されると、追加した音源WAVデータのファイル名、再生時間、フォルダが表示されます。

これで、音源WAVデータの追加は完了です。



- データ追加直後は、音源名称はありません。
- 音源 WAV データの追加を行ったら、音源 WAV データの名称を入力してください。

(2) 音源 WAV データの変更

音源データ一覧のデータ番号エディットに表示されている番号の音源WAVデータを変更します。
音源WAVデータの変更方法を以下に示します。

操作手順

1 変更したいデータの番号選択ボタンをクリックします
データ番号エディットに選択した番号が表示されます。

2 [変更] ボタンをクリックします
音源データ変更画面が表示されます。

3 WAV 形式の音源ファイルを選択後、[開く] ボタンをクリックします

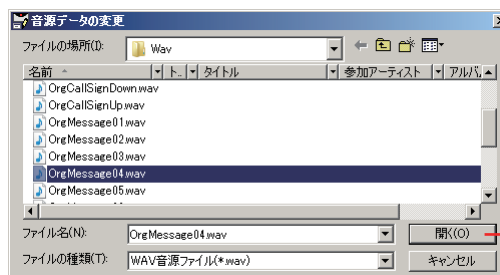
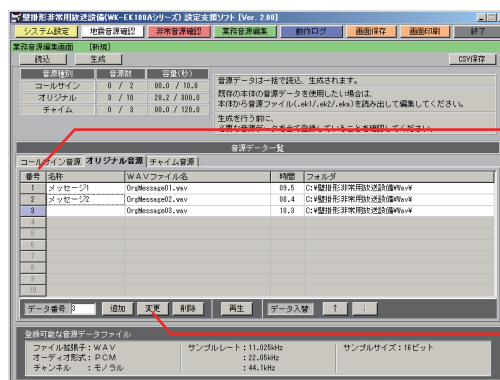
音源データ変更画面が閉じられ、音源WAVデータが変更されます。

変更した音源WAVデータのファイル名、再生時間、フォルダが表示されます。

これで、音源WAVデータの変更は完了です。



- データの変更を行っても、音源 WAV データの名称は変更されません。
音源名称を変更したい場合は、音源WAVデータの名称を再入力してください。



(3) 音源 WAV データの削除

音源データ一覧のデータ番号エディットに表示されている番号の音源WAV データを削除します。



- 音源 WAV データの削除とは、音源データ一覧から音源 WAV データを削除することです。音源WAVファイル自体は削除されません。

音源WAVデータの削除方法を以下に示します。

操作手順

- 1 削除したいデータの番号選択ボタンをクリックします**
データ番号エディットに選択した番号が表示されます。
- 2 [削除] ボタンをクリックします**
音源データ削除画面が表示されます。
- 3 [OK] ボタンをクリックします**
音源WAVデータが削除されます。
削除を行わない場合は、[キャンセル] ボタンをクリックし、削除を中止します。

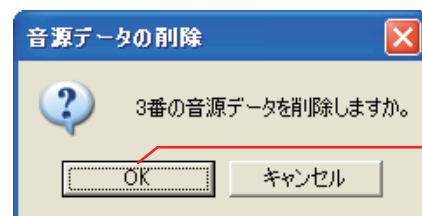


- データの削除を行うと、音源 WAV データの名称も削除されます。



1

2



3



(4) 音源 WAV データの再生

音源データ一覧のデータ番号エディットに表示されている番号の音源WAVデータを再生・試聴します。音源WAVデータの再生方法を以下に示します。

操作手順

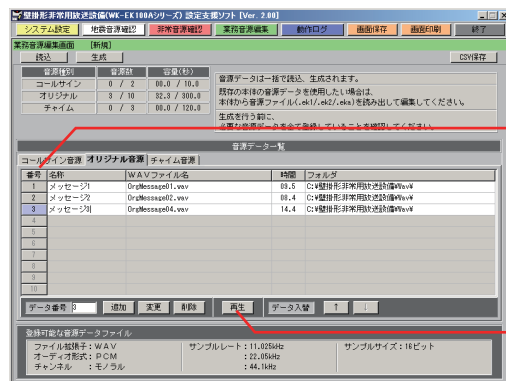
- 1 再生したいデータの番号選択ボタンをクリックします
データ番号エディットに選択した番号が表示されます。
- 2 [再生] ボタンをクリックします
音源再生ソフトが起動し、音源WAVデータが再生されます。



- 音源の停止や繰り返しは、音源再生ソフトで行ってください。
- 音源 WAV データを再生する前に音源再生ソフトが起動していないことを確認してください。また、音源 WAV データの再生終了後は音源再生ソフトを終了してください。



- [再生] ボタンをクリックしてから、実際に音が出力されるまでに時間がかかることがあります。サンプルレートが 44.1 kHz、20.05 kHz の WAV ファイルを再生する場合には、11.025 kHz へのダウンサンプリング処理を実行してから再生するためです。
(目安) 30 秒の音源データ ⇒ 約 30 秒の待ち時間
5 分の音源データ ⇒ 約 5 分の待ち時間
待ち時間中は、操作できませんのでしばらくお待ちください。



(5) 音源 WAV データの入れ替え

音源データ一覧のデータ番号エディットに表示されている番号の音源WAVデータを、1つ前、または1つ後ろの番号の音源WAVデータと入れ替えます。

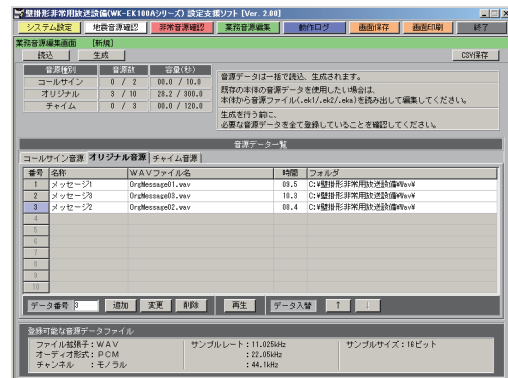
音源WAVデータの入れ替え方法を以下に示します。

操作手順

- 1 入れ替えたいデータの番号選択ボタンをクリックします
データ番号エディットに選択した番号が表示されます。
- 2 1つ前の番号のデータと入れ替える場合は【↑】ボタンを、1つ後ろの番号のデータと入れ替える場合は【↓】ボタンをクリックします
クリック後、音源WAVデータが入れ替わります。



- 入れ替えを行うと、音源 WAV データの名称も入れ替わります。



(6) 音源 WAV データの音源名称入力

音源WAVデータの名称を入力します。

音源WAVデータが何の音源であるか分かるように、半角16文字（全角8文字）以内で名称を入力します。
音源WAVデータの名称入力方法を以下に示します。

操作手順

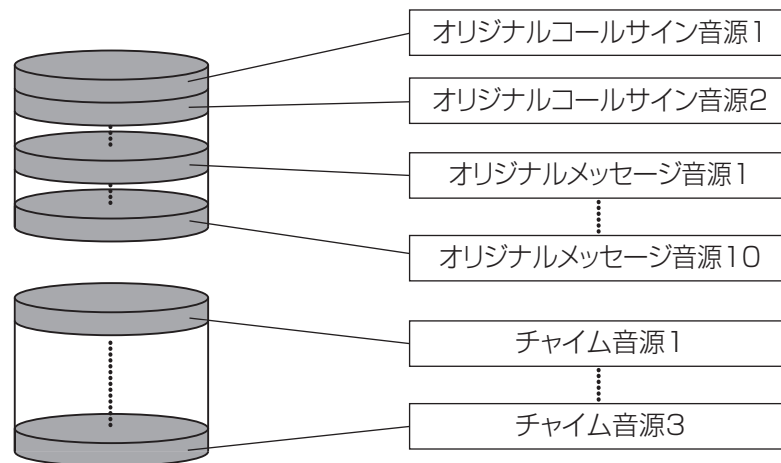
- 1 音源名称を入力したい音源 WAV データの音源名称表示部をダブルクリックします
ダブルクリック後、キーボードから名称を入力します。



業務放送音源データファイルの生成

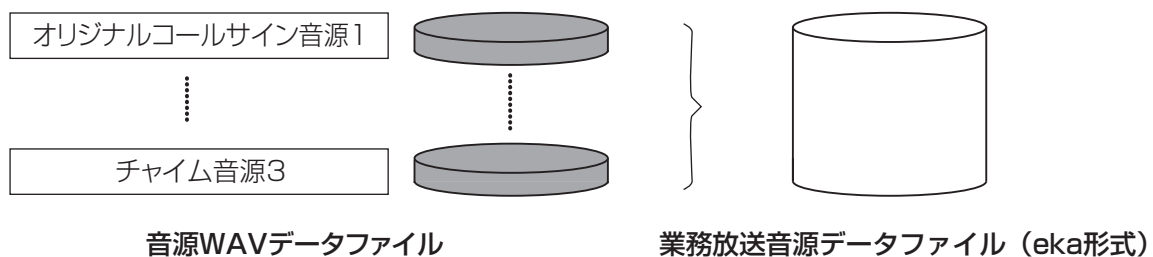
音源データ一覧の情報を元に、音源WAVデータを変換して、業務放送音源データファイルを生成します。

- 業務放送音源データファイルとは、eka形式でオリジナルコールサイン音源、オリジナルメッセージ音源、チャイム音源が格納されているファイルです。



業務放送音源データファイル (eka形式)

- 生成とは、各音源 WAV データを変換して、業務放送音源データファイルを生成することです。



音源WAVデータファイル

業務放送音源データファイル (eka形式)

- 生成を行う時に、変換元となる WAV 形式のサンプルレートが 22.05 kHz または 44.1 kHz の場合、ダウンサンプリングして 11.025 kHz サンプルレートの音源 WAV データファイルが新規に作成されます。ダウンサンプリングして新規に作成されたファイルは、「元のファイルのファイル名 (11025 Hz) .WAV」というファイル名で元のファイルと同じフォルダに作成されます。
生成される業務放送音源データファイルは、11.025 kHz サンプルレートの音源 WAV データファイルを元に生成されます。

(例)ダウンサンプリング

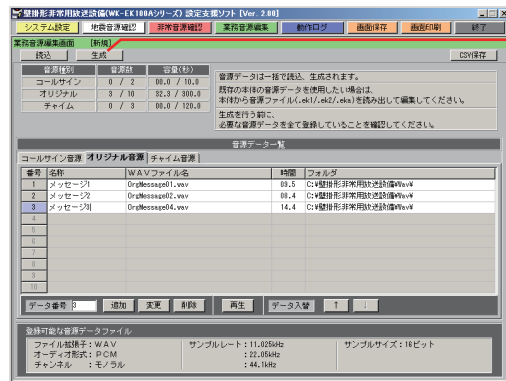


業務放送音源データファイルの生成方法は以下のとおりです。
SDカードをフォーマットしてから使用してください。

操作手順

1 業務音源編集画面のメニューバーの【生成】ボタンをクリックします

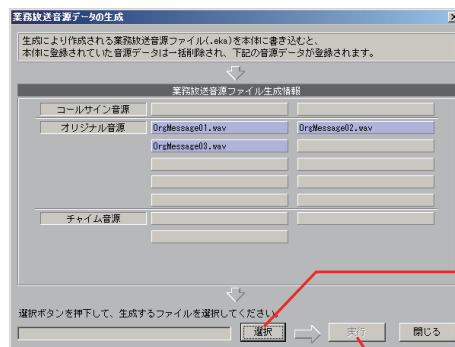
業務放送音源データ生成画面が表示されます。



2 【選択】ボタンをクリックし、生成する業務放送音源データファイルを選択します

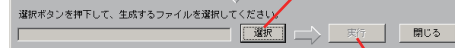
業務放送音源データファイルのファイル名が表示されます。

生成時はekaファイルのみとなります。



3 【実行】ボタンをクリックします

ファイルの生成が開始されます。



- 作成した業務放送音源データファイルを本体に書き込むときは、業務放送音源データファイルをSDカードに保存してください。
- ファイルの生成についての詳細は、ファイル読み込み／保存の手順（80ページ）を参照してください。
- ダウンサンプリングが行われたWAVファイルがある場合、音源データ一覧の音源WAVデータファイル名には、11.025 kHz サンプリングのWAVファイル名が表示されます。
- 業務放送音源データファイルのファイル名に使用できる文字は、半角英数字および_!#\$%&@です。
- 業務放送音源データファイルのファイル名に使用できる文字数は半角15文字までです。

業務放送音源データファイルの CSV 保存

業務放送音源データファイルの内容をCSVファイルに保存します。

業務放送音源データファイルの内容とは、業務放送音源の音源名称、音源WAVデータファイル名、再生時間などの情報です。

CSVファイルは、カンマで区切られた定型のテキスト形式ファイルです。CSVファイルは、表計算ソフト(Microsoft Excel等)でファイルを読み込むことができますので、表計算ソフト上からドキュメントを加工し、音源一覧表などの一部にすることが可能です。



- 業務放送音源データ CSV ファイルは、表計算ソフトで閲覧・加工することをお勧めします。このファイルは、表計算ソフトで使用したときに閲覧・加工しやすいようなファイルフォーマットになっています。

CSV保存する方法は以下のとおりです。

操作手順

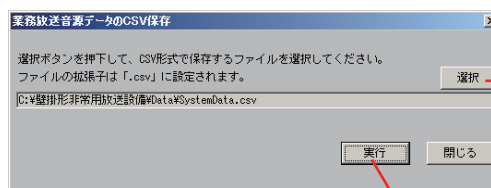
1 業務音源編集画面のメニューバーの【CSV 保存】ボタンをクリックします

業務放送音源データCSV保存画面が表示されます。



2 【選択】 ボタンをクリックし、保存する CSV ファイルを選択します

CSVファイルのファイル名が表示されます。



3 【実行】 ボタンをクリックします

CSVファイルの保存が開始されます。



- ファイルの保存についての詳細は、ファイルの読み込み／保存の手順（80 ページ）を参照してください。

動作ログの確認

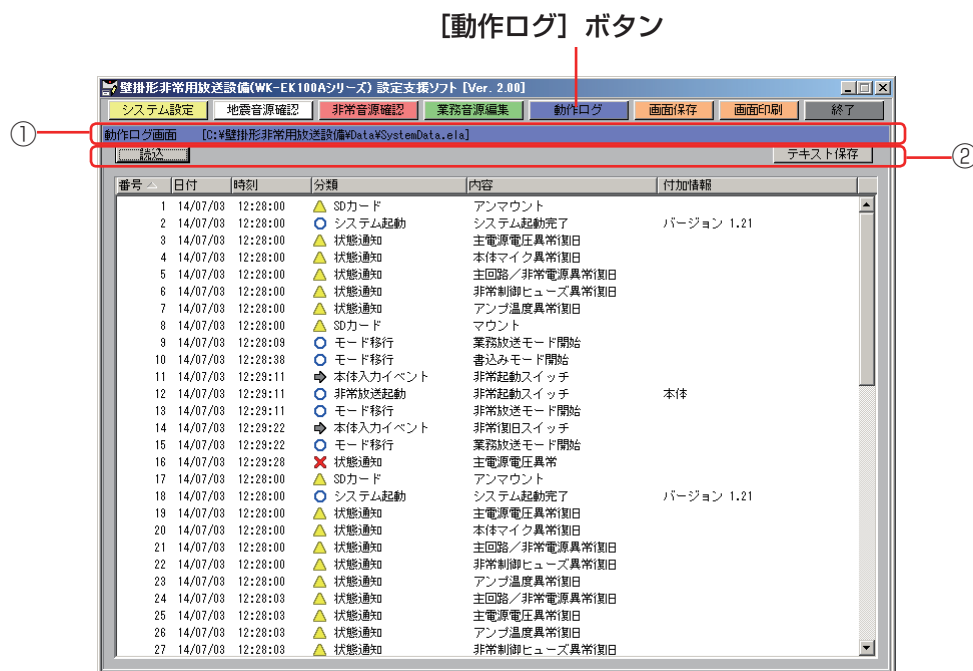
動作ログの概要

動作ログとは、本体で自動的に記録している放送起動や障害発生などの動作履歴のことです。

動作ログデータ管理機能では、動作ログデータの確認・管理を行います。

動作ログデータ管理は、動作ログ画面で行います。

動作ログ画面は、メニューバーの「動作ログ」ボタンをクリックすると表示されます。



① タイトルバー

動作ログ動作画面が表示されていることを表します。

また、ログデータファイルの読み込み時に指定したログファイルの名称を表示します。

動作ログ画面 [C:\¥壁掛形非常用放送設備¥Data¥SystemData.eia]

② メニューバー

メニューバー上の各ボタンをクリックすることにより、各機能を実行できます。

ボタン名称	説明	参照ページ
読込	動作ログデータファイルを読み込みます。 ボタンをクリックすると、動作ログデータ読み込み画面が表示されます。	74
テキスト保存	動作ログデータの内容をテキストファイルに保存します。 ボタンをクリックすると、動作ログデータテキスト保存画面が表示されます。	76

動作ログデータファイルの読み込み

ログデータファイルからログデータを読み込むことができます。

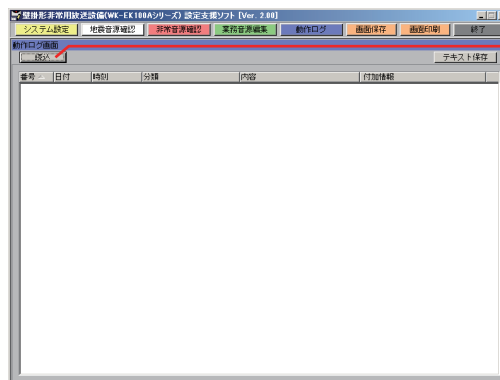
ログデータを読み込む方法は以下のとおりです。

elaファイルのみ読み込み可能です。txtファイルを読み込むことはできません。

操作手順

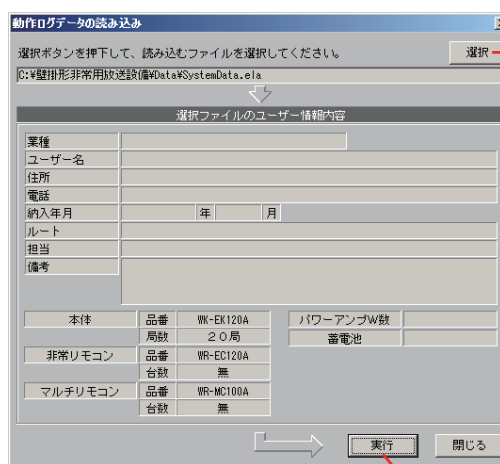
1 動作ログ画面のメニューバーの【読み込み】ボタンをクリックします

動作ログデータ読み込み画面が表示されます。



2 【選択】ボタンをクリックし、読み込む動作ログデータファイルを選択します

ログデータファイルを選択すると、ログデータファイルのファイル名とユーザー情報が表示されます。



3 【実行】ボタンをクリックします

動作ログデータファイルの読み込みが開始されます。



- ファイルの読み込みについての詳細は、ファイル読み込み／保存の手順（80ページ）を参照してください。
- 選択したファイル内にユーザー情報が書き込まれていない場合、ユーザー情報は表示されません。
- 読み込む動作ログデータファイルのログデータ数により、読み込みに数分間かかる場合があります。
- 読み込みが完了すると、開いている画面がすべて閉じられ、動作ログ画面に戻ります。

動作ログの表示

読み込んだログデータを一覧表示します。
表示する項目は、下表のとおりです。

項目	説明
番号	動作ログの番号を表します。
日付	動作（イベント）が発生した日付を表します。
時刻	動作（イベント）が発生した時刻を表します。
分類	動作（イベント）の分類を表します。
内容	動作（イベント）の内容を表します。
付加情報	動作（イベント）の内容に対しての付加情報を表します。

番号	日付	時刻	分類	内容	付加情報
1	14/07/03	12:28:00	▲ SDカード	アンマウント	
2	14/07/03	12:28:00	○ システム起動	システム起動完了	バージョン 1.21
3	14/07/03	12:28:00	▲ 状態通知	主電源電圧異常回復	
4	14/07/03	12:28:00	▲ 状態通知	本体マイク異常回復	
5	14/07/03	12:28:00	▲ 状態通知	主回路 / 非常電源異常回復	
6	14/07/03	12:28:00	▲ 状態通知	非常制御ヒューズ異常回復	
7	14/07/03	12:28:00	▲ 状態通知	アンブ温度異常回復	
8	14/07/03	12:28:00	▲ SDカード	マウント	
9	14/07/03	12:28:03	○ モード移行	業務放送モード開始	
10	14/07/03	12:28:38	○ モード移行	番込みモード開始	
11	14/07/03	12:28:11	⇒ 本体入力イベント	非常起動スイッチ	本体
12	14/07/03	12:28:11	○ 非常放送起動	非常起動スイッチ	
13	14/07/03	12:28:11	○ モード移行	非常放送モード開始	
14	14/07/03	12:28:22	⇒ 本体入力イベント	非常停止スイッチ	
15	14/07/03	12:28:22	○ モード移行	業務放送モード開始	
16	14/07/03	12:28:28	× 状態通知	主電源電圧異常	
17	14/07/03	12:28:00	▲ SDカード	アンマウント	
18	14/07/03	12:28:00	○ システム起動	システム起動完了	バージョン 1.21
19	14/07/03	12:28:00	▲ 状態通知	主電源電圧異常回復	
20	14/07/03	12:28:00	▲ 状態通知	本体マイク異常回復	
21	14/07/03	12:28:00	▲ 状態通知	主回路 / 非常電源異常回復	
22	14/07/03	12:28:00	▲ 状態通知	非常制御ヒューズ異常回復	
23	14/07/03	12:28:00	▲ 状態通知	アンブ温度異常回復	
24	14/07/03	12:28:03	▲ 状態通知	主回路 / 非常電源異常回復	
25	14/07/03	12:28:03	▲ 状態通知	主電源電圧異常回復	
26	14/07/03	12:28:03	▲ 状態通知	アンブ温度異常回復	
27	14/07/03	12:28:03	▲ 状態通知	非常制御ヒューズ異常回復	

「コラムヘッダー」の各項目名称をクリックすることで、整列（ソート）表示することができます。
整列基準になっている項目には、「コラムヘッダー」の各項目名称に「▲」または「▼」が表示されます。
「▲」が表示されているときは、昇順で整列表示されています。
「▼」が表示されているときは、降順で整列表示されています。

動作ログデータファイルのテキスト保存

動作ログデータをテキストファイルに保存します。

テキストファイルとは、複数のオペレーティング システム (OS) で使用できるテキスト形式ファイルです。テキストファイルは、テキスト編集ソフト (メモ帳 (Notepad) 等) でファイルを読み込むことができますので、テキスト編集ソフト上からドキュメントを加工し、ログ一覧表などの一部にすることができます。



- ログデータテキストファイルは、テキスト編集ソフトで使用したときに閲覧・加工しやすいようなファイルフォーマットになっています。テキスト編集ソフトで閲覧・加工することをお勧めします。

テキスト保存する方法は以下のとおりです。

操作手順

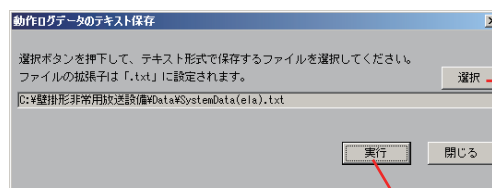
1 動作ログ画面のメニューバーの [テキスト保存] ボタンをクリックします

動作ログデータテキスト保存画面が表示されます。



2 [選択] ボタンをクリックし、保存するテキストファイルを選択します

テキストファイルのファイル名が表示されます。



3 [実行] ボタンをクリックします

テキスト保存を開始します。



- ファイルの保存についての詳細は、ファイル読み込み／保存の手順 (80 ページ) を参照してください。

画面イメージの保存

本章では、画面イメージ保存機能の概要と機能について説明します。

画面イメージ保存の概要

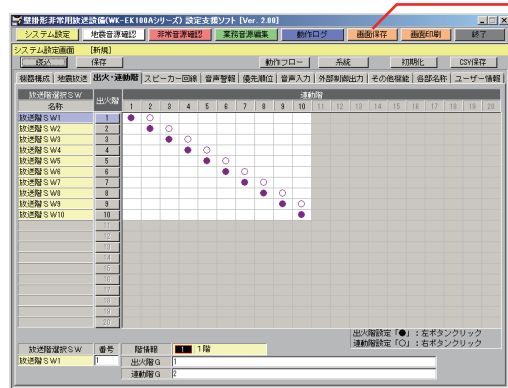
画面イメージ保存機能では、本アプリケーションの画面を画像ファイルとして保存します。メニューバーの「画面保存」ボタンをクリックしたときに表示されている画面を保存します。画面イメージ保存で保存する画像ファイルは、ビットマップファイル (bmp形式)、または、JPEG ファイル (jpg / jpeg 形式)、として保存することができます。

画面イメージ保存の方法

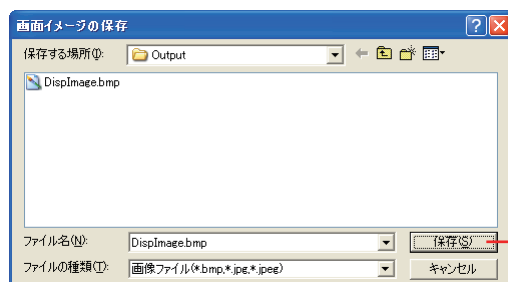
画面イメージ保存の方法を以下に示します。

操作手順

- 1 メニューバーの「画面保存」ボタンをクリックします
画面イメージ保存画面が表示されます。
新規ファイルに保存する場合は、保存先フォルダを選択しファイル名を入力します。また、ファイルの種類を選択します。



- 2 「保存」ボタンをクリックします
画面イメージ保存画面が閉じ、画面イメージで指定したファイルに保存されます。
ファイルに保存されると、元の画面に戻ります。



画面イメージの印刷

本章では、画面イメージ印刷機能の概要と機能について説明します。

画面イメージ印刷の概要

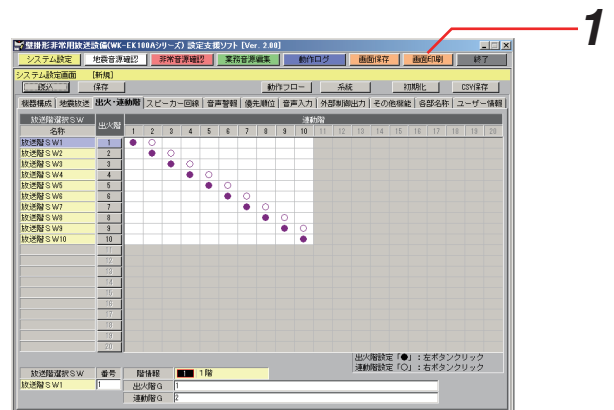
画面イメージ印刷機能では、本アプリケーションの画面を印刷します。
画面イメージの印刷は、メニューバーの「画面印刷」ボタンをクリックし実行します。
「画面印刷」ボタンをクリックしたときに、表示されている画面を印刷します。

画面イメージ印刷の方法

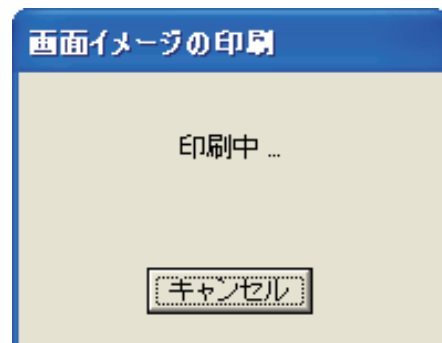
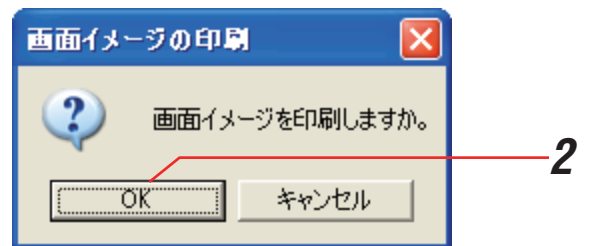
画面イメージ印刷の方法を以下に示します。

操作手順

- 1 メニューバーの「画面印刷」ボタンをクリックします
画面イメージ印刷画面が表示されます。



- 2 「OK」ボタンをクリックします
印刷が開始されます。
印刷を中断したい場合は、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。画面イメージ印刷画面が閉じ、印刷が中断されます。
印刷が終了すると、画面イメージ印刷画面が閉じ、元の画面に戻ります。
これで印刷は完了です。



- 印刷を行う前に、プリンタが印刷可能な状態であるか確認してください。
プリンタが印刷できない状態の場合、印刷は行われません。

故障かな !?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

症 状	確認していただく内容
ファイルが保存できない	<ul style="list-style-type: none">● 保存先ドライブやフォルダが書き込み保護設定されていないことを確認してください。● ファイル名に以下の文字を使用していないことを確認してください。 使用不可文字：半角の ¥/:*?"<> ● 保存先ドライブの空き容量が十分であることを確認してください。● 既存のファイルに上書きする場合は、ファイルが読み取り専用設定されていないことを確認してください。
ファイルを読み込むことができない	<ul style="list-style-type: none">● 読み込むファイルが本体または設定支援ソフトで作成されたファイルであることを確認してください。● 拡張子の異なるファイルを読み込むことはできません。● CSV ファイル、txt ファイルを読み込むことはできません。
業務放送音源に WAV ファイルを追加できない	<ul style="list-style-type: none">● 指定された範囲のサンプルレート、サンプルサイズ、チャンネルの WAV ファイルであることを確認してください。
音源データが再生できない	<ul style="list-style-type: none">● 増設非常放送音源を試聴する場合には、増設非常放送音源データに音源が登録されていることを確認してください。● 作業フォルダがあるドライブの空き容量が十分であることを確認してください。
再生している音源が聞こえない	<ul style="list-style-type: none">● スピーカーが接続されていることを確認してください。● PC のボリューム設定が適切か確認してください。
SD カードを正常に取り出すことができない	<ul style="list-style-type: none">● 本アプリケーションを終了してから SD カードを取り出してください。
保存したファイルが本体で読み込めない SD カード カクニンデ キマセン が液晶画面に表示されている	<ul style="list-style-type: none">● SD カードをフォーマットしてから、SD カードへの保存をやり直してください。

付録

ファイル読み込み／保存の手順

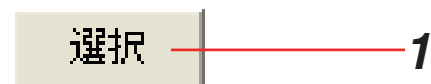
設定支援ソフトで設定データファイル、音源データファイル、動作ログデータファイル、CSVファイルの読み込み／保存手順について以下に示します。

以下の操作手順はファイルの読み込み／保存の一例としてシステム設定データファイルの読み込みを示しています。

操作手順

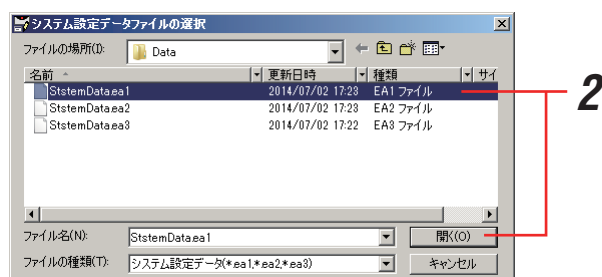
1 ファイルの読み込み／保存画面で【選択】ボタンをクリックします

ファイルの選択画面が表示されます。



2 ファイルの選択画面で、読み込み／保存するデータファイルを選択して【開く】ボタンをクリックします

ファイルの読み込み／保存画面に選択したデータファイルのファイル名が表示されます。



- 作成した設定データファイルや音源データファイルを本体に書き込むためには、SDカードに保存する必要があります。SDカードをPCに装着すると自動的にドライブ名が設定されますので、ルートディレクトリに設定データファイルおよび音源データファイルを保存してください。SDカードをPCに装着する方法、およびドライブ名を調べる方法については、PCおよびSDカードの取扱説明書を参照してください。

設定データファイル、音源データファイルの保存時に使用できるファイル名は、半角15文字までの半角英数字および-_!# \$ & @です。全角文字は使用できません。

3 ファイルの読み込み／保存画面で【実行】ボタンをクリックします

読み込み／保存実行画面が表示されます。



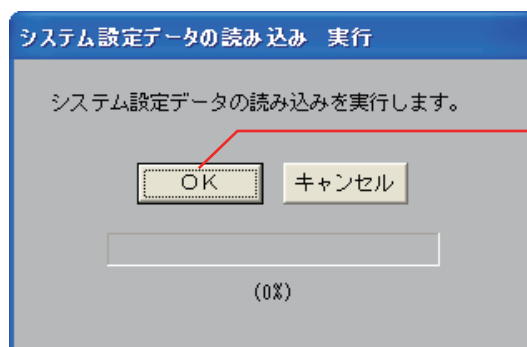
4 [OK] ボタンをクリックします

読み込みが開始され、進行度合いが百分率 (%) で表示されます。100 %になると読み込み／保存が終了します。

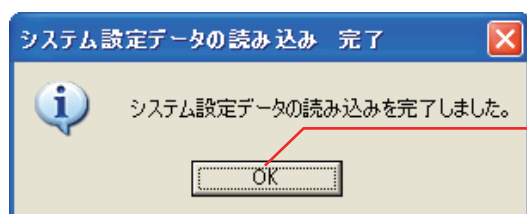
読み込み／保存が終了すると、読み込み／保存完了画面が表示されます。



- 保存するデータファイルがすでに存在する場合、保存実行画面に「既存ファイルに上書きで保存します。」と表示されます。上書きで保存したくないときは、[キャンセル] ボタンをクリックして、保存するデータファイルを選択し直してください。



5 [OK] ボタンをクリックして完了画面を閉じます



■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他で不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリー
ダイヤル  **0120-878-410** バナハ ヨイワ 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただきます。ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号